

書式

某儀

陸軍服役滿期ノ上ハ工部省電信局吏員(鐵道車長)(鐵道守線手)(
燈明番)ニ奉職仕度候間御檢査ノ上御採用被下度尤奉職中ハ同省
ノ御規則嚴重相守決テ違背仕間敷候因テ此段奉願候也

使(府)(縣)國郡(區)町(村)士族(平民)

何兵第何聯隊第何大隊第何中隊獨立隊ニ在テハ
第何大(中)小隊
(第何軍管第何師管第後備軍驅員)

年號月日

官姓名印

所管長官宛

一文官志願人ノ試験ハ所管長官ノ命ヲ以テ常備服役ノ者ニハ士官

二名若クハ三名後備服役ノ者ニハ後備軍司令官及ヒ副官ヲ以テ
委員トシ之ヲ行ハシムヘシ

但醫官一名ヲ附シ試験前身体ノ檢査ヲ爲サシム

一文官志願人試験ノ項目左ノ如シ

其一 讀書

其二 寫字

其三 作文

其四 和算術

一其一ハ漢文有點ノ書日本外史或ハ假名交リノ書常山紀談兵要日
本地理小誌ノ類

一其二ハ常山紀談兵要日本楷書行書各一葉ツヽナ淨寫セシムヘシ
地理小誌ノ中一節尺牘類各一二ノ問題ヲ出シテ之ニ應答セ
シムヘシ

- 一其四ハ其學力ニ應シ一二ノ問題ヲ出シテ之ニ應答セシムヘシ
- 一右試驗項目ノ外本人ノ希望ニテ圖畫寫景測量等ノ試驗ヲ受ケン
トスル者ハ之ヲ許シ検査帖ニ増加シ尙其旨ヲ備考ニ記載スヘシ
- 一試験ヲ終ルノ後試験委員ハ左式ノ検査帖ヲ作り之ニ試験應答書
類并ニ身體検査証ヲ添へ所管長官へ出スヘシ所管長官ハ之ヲ取
纏メ最初願出ノ順序ニ從ヒ文官志願人検査簿ヲ製シ右試験書類
並ニ本人ノ願書及ヒ名簿寫ヲ添へ速ニ陸軍省へ進達スヘシ

検査帖

讀	書寫	字作	文算	術官	姓名
書名上(中)(下)	上(中)(下)	上(中)(下)	和算何マテ	步兵曹長何某	

書名上(中)(下) 上(中)(下) 上(中)(下) 洋算何マテ 工兵軍曹何某

備考

一陸軍省ニ於テハ各所管ヨリ進達ノ名簿ニ依リ順序ヲ定メ文官志願人名簿ヲ製シ本人ノ願書并履歷書及試験應答ノ書類身体検査証ヲ添へ工部省ニ送達シ該省ト協議ノ上其合格不合格ノ者ヲ定メ而ル後其姓名ヲ各所管ニ達シ各所管ヨリ之ヲ本人ニ達セシムル者トス

一文官志願人陸軍服役滿期ニ至ルキハ其姓名ヲ陸軍省ヨリ工部省ニ通知スヘシ工部省ニ於テハ志願人ヲ要スル時ニ當リ其所要ノ局ヨリ直チニ本籍府縣へ通知セシメ之ヲ召集スルモノトス

一 文官志願人歸郷中病氣又ハ家事ノ故障ニ由リ其志願ヲ辭セント欲スル者ハ其事由ヲ詳ニシ戸長及ヒ郡(區)長ノ奧書証印ヲ以テ直ニ工部省へ願出ヘシ(但身上ニ異動ヲ生シ又ハ轉居轉籍等ニテ履歷上改正ヲ要スルキモ亦本文ノ手續ヲ以テ届出ヘシ)

一 文官志願人服役又ハ歸郷中軍律降官以上或ハ常律懲役及ヒ國事犯禁獄實決以上ノ刑ニ處セラレトキハ之ヲ採用セス

陸軍下士文官志願手續附錄

電信局吏員ニ採用スヘキ者ハ左ノ規則ニ據リ取扱フモノトス

一 陸軍下士服役滿期ノ後電信局ノ吏員ニ奉職センコトヲ願ヒ之ヲ採用スル者ハ電信分局ノ事務ヲ取扱ハシムルモノトス

一 陸軍省ニ於テ志願人ノ行狀體質ヲ查察シ及ヒ讀書寫字作文算術

等試驗ノ後其要用ノ書類ヲ添ヘ工部省へ通達シ協議ノ上合格ニシテ電信局へ採用セント欲スル者ハ其姓名ヲ名簿ニ記載シ其人ヲ要スル時電信局ヨリ本籍府縣へ通知シ本人出頭シタルキハ分局ノ事務ヲ傳習セシムル爲メ日數凡四週間乃至五週間ノ内ハ金拾五錢ヨリ少カラス三拾錢ヨリ多カラサルノ日給ヲ支給シテ試用スヘシ而シテ後其可ナルモノハ之ヲ採用シ其不可ナルモノハ採用ヒス(但其往復旅費ハ自辨タルヘシ)

一 試用ノ上其可ナルモノハ十等屬或ハ等外吏ニ任シ各分局ノ内へ赴任セシムヘシ(但分局員交換其他ノ都合ニ因リテハ本局ニ於テ事務ヲ取扱ハシムルコトモアルヘシ)

一 志願人ハ素ヨリ分局ノ事務ヲ取扱ハシムル爲メ採用スルカ故ニ

出張赴任ヲ命スルトキハ例レノ地方ヲ論セス違背スヘカラス

一官吏ニ登庸シタルモノハ諸規則ヲ嚴守スルハ勿論ニシテ進退其
他身上ニ係ルコトモ總テ官吏一般ノ例規ニ依ルヘシ

鐵道車長及守線手等ニ採用スヘキ者ハ左ノ規則ニ據リ取扱フ者ト
ス

一陸軍下士服役滿期ノ後鐵道車長及守線手等ニ奉職センコトヲ志

願シ且左ノ項目ニ合格ノ者ハ其缺員アル時漸次之ヲ採用スヘシ

一年齡二拾五歲以上三十五歲以下ニシテ品行方正ナル者

一身体健康眼力明瞭ニシテ遠隔ノ物體并ニ物色ヲ辨別スルニ

差支ナキ者

一讀書寫字作文算術等ニ差支ナキ者

一陸軍省ニ於テ志願人ノ行狀體質ヲ查察シ及ヒ讀書寫字作文算術

等試験ノ後其要用ノ書類ヲ添ヘ工部省へ通達シ協議ノ上合格ニ

シテ採用セント欲スル者ハ其姓名ヲ名簿ニ記載シ其人ヲ要スル

時鐵道局ヨリ本籍府縣へ通知シ出頭ヲ命スヘシ

但往復旅費ハ自辨タルヘシ

一奉職中日給ハ金廿錢ヨリ少カラス四拾錢ヨリ多カラサル額ヲ給

ス

一奉職期限ヲ定メテ三ケ年トス然レモ其職ニ慣熟シ且平素精勤ノ

モノハ更ニ三ケ年ヲ期シ勤績ヲ命スヘシ

但期限中タリモ規則ニ違背シ若シクハ不品行ノ動作アルキハ

臨時其職ヲ免スルコトアルヘシ

一本人身元保證人ヨリ左ノ書式ノ保證狀ヲ出サシム

但保證人ハ其奉職スル鐵道所在ノ地ニ居住シテ孰モ身元慥カナル者ニ限ルヘシ

身元引受證書

府縣族籍

本人姓名

年齡

右ノ者御局御備被命候上ハ御規則ノ趣堅ク遵守爲致且身元ノ儀ハ於私始終引受可申候自然疾病其他事故有之退職相願又ハ犯則等ニテ免備被命候節ハ萬事引受聊御局ニ對シ不都合ノ儀仕間敷仍テ保證狀如此候也

何府區
何郡何村何番地
華土族
平民

年號月日

姓名印

鐵道局

御中

一奉職中ハ服帽及雨衣ニ限リ鐵道局ヨリ貸與スヘシ

燈明番ニ採用スヘキ者ハ左ノ規則ニ據リ取扱フモノトス

一陸軍各兵下士服役滿期ノ後燈明番タラント志願シ且左ノ項目

ニ適スル者ハ缺員アルニ隨ヒ漸次之ヲ採用スヘシ

第一 年齡四十五歲以下ノ者

第二 身體健全ニシテ遺傳病及ヒ從來吐血肺病或ハ重疾急

症等ニ罹リシコト無ク且ツ最モ常ニ眼力明瞭ニシテ遠

隔ノ物体并ニ物色ヲ辨別スルニ差支ナキ者

第三 讀書寫字作文算術等常務ヲ取ルニ差支ナキ者

一陸軍省ニ於テハ豫テ定ムル所ノ志願手續ニ依リ諸項目ノ試験并
身体ノ検査ヲ遂ケ本人ノ願書并履歷書及試験應答ノ書類身体檢
査証ヲ添エ工部省ニ送達シ兩省協議ノ上及第ト落第ノモノヲ定
ムヘシ

一工部省ニ於テハ右及第者ノ姓名ヲ順序ヲ逐テ燈明番經試験ニ登
記シ置キ燈明番見習ノ缺員ニ隨ヒ順次出頭ヲ命スルモノトス
但至急ヲ要スル場合ニ於テハ右經試験中記名ノ順序ニ拘ラス
東京横濱最近ノ地ニ居住スル者ヲ出頭セシメ或ハ一般ノ燈明
番試験手續ヲ以テ東京横濱間居住ノ志願者ヲ臨時募集スルコ
ト

アルヘシ

一右出頭ノ者ハ假リニ燈明番備員ト稱シ日給金貳拾六錢ヲ與ヘ衣
食學費ニ充シメ横濱燈臺局試験燈臺并ニ修技費ニ於テ一ヶ月乃
至二ヶ月以上點燈ニ關スル諸般ノ事業ヲ習學セシムヘシ

但習學中學業其外休格等自然不合格ト認定スル者ハ退費ヲ命
ス尤往返ノ旅費ハ自辨タルヘシ

一前條ニ記載セル習學期限中不良ノ動作ナク且事業其他全ク合格
ノ者ト認定スル時ハ左ノ書式ノ誓書及ヒ保証狀ヲ出サレメ燈明
番見習ヲ命シ左表ノ月給旅費及ヒ衣服料ヲ與フヘシ尤モ最前入
費ノ爲メ出頭ノ時ノ旅費ハ東京ヨリ横濱迄ノ分ノミヲ支給スル
モノトス

燈明番見習等級月給旅費衣服料定則表

本等	月給	一 旅費其他共本等ヲ以テ給ス 但赴任ト雖モ並旅行ノ日當ヲ給ス
等外四等	金 八 圓	一 最初拜命ノ節ニ限リ衣服料トシテ 金拾三圓ヲ給ス

習學ノ爲メ入局中ハ月給金高二分一ヲ預リ置キ本月食費或ハ藥價ニ充シメ殘餘金ハ每翌月三日ヲ期トシテ返附スヘシ尤臨時派出スル者ハ其時々處分スヘシ

一 燈明番見習拜命ノ後ハ一般燈明番ト全一ノ權利義務ヲ有スルヲ以テ公私ノ百事一般燈明番ト全一ニ處分スルモノトス其服務中ノ諸規則并ニ等級月級旅費衣服補助料等ハ燈明番示教總則書ニ詳カナリ

一 燈明番見習ヲ命スル時本人及ヒ身元引受人ヨリ出スヘキ誓書并ニ保證狀左ノ如シ

誓書々式 (美濃紙ニツ折壹通)

私儀願ニ因テ燈明番見習被命候ニ付テハ局中ノ御規則堅ク相守リ見習中ハ勿論成業ノ後誓テ五ヶ年間奉務勉勵可仕候依テ誓書如此候也

何府何區何町何番地 華土族 何男或ハ兄弟
何縣何郡何村 平民 或ハ附籍

年號月日

苗字 名 印

何年何ヶ月

燈臺局長某殿

身元引受人保證狀書式 (用紙同上)

本人苗字名

右ノ者燈明番見習被命候上ハ御規則ノ趣堅ク遵守爲致見習中ハ勿論成業ノ後ハ必ス五ヶ年間奉務爲仕且身元ノ儀ハ於私始終引受可申候自然疾病其他不得止事故アリテ退局相願候歟又ハ犯則等ニテ除員被命候節ハ御規則ノ通御處分相受可申候依テ保証狀如此候也

宿所ハ本人誓書肩書ニ同シ

但東京又ハ神奈川縣内ニ居住スル身元慥ナル者ニ限ルヘシ

年號月日

苗字名印

燈臺局長某殿

○乙第六十七號 五月九日 各郡町村

郡役所戸長役場ニ於テ使用スル提灯其他ノ器物へ御用ノ文字相用候

モノ間々有之哉ニ相聞候自今右文字不用様可致尤從來右様ノモノ有之候ハ、漸次更正可致此段爲心得相達候事

但諸役場呼出狀等ノ儀ハ從來ノ慣行ニ任スヘシ

●乙第六十八號 五月十二日 伊豫國各郡町村

本年(三月)乙第三十四號ヲ以市街搦田伐替畑爐畑ノ舊式券狀所持ノ者ハ同月三十一日限更正券狀ニ書換望願ノ有無ヲ區別シ夫々對照書可差出旨相達置候處今以不差出向多々有之甚以不都合ノ次第ニ付本月二十五日迄ニ當廳へ到着セサル分ハ渾テ書換望願ノ者ト看做シ新券調整ニ可取掛候條明治十二年乙第四百四號達ノ雛形ニ準シ來六月五日程悉皆對照書可差出此段更ニ相達候事

●乙第六十九號 五月十三日 各郡町村

人民ヨリ差出候願同等指令ノ義ニ付今般甲第八十九號ヲ以布達候處其郡役所等へ差出候分ヨ全様副本へ指令可取計此段相達候事

●乙第七十號 五月廿日 各郡町村

一昨明治十二年本縣乙第三百五十七號達並ニ客年本縣乙第百壹號達中左ノ通删除及增加候條此段相達候事

一乙第三百五十七號達第六十六條第一項中(其旨最寄警察署へ届出然ル後)ノ十三字ヲ削ル

一乙第百一號達中本廳ノ下へ(郡役所)ノ三字挿入ス

○乙第七十一號 五月二十日 各郡町村

今般甲第九十六號ヲ以テ及布達候通無主ノ野犬歐殺願許否ノ義ハ自今所轄警察署へ委任致シ候ニ付右ニ抵觸スル從前ノ達指令等ハ取消

候條此段相達候事(但警察署ニ於テ本文ノ願ヲ聽計致候節ハ其旨所管郡役所へ通知爲致候條此旨相心得ヘシ

○乙第七十二號 五月廿一日 各郡町村

明治十二年本縣乙第百五十八號達協議費仕拂高取調表相廢シ候條自今町村協議費之儀ハ町村會及ヒ水利土功會ニ於テ前年度分戸長役場ニ於テ取調毎年十月十五日限リ郡役所へ差出シ同所ニ於テハ左之書式ニ準シ一郡毎ニ取調同月三十日迄ニ當廳へ差出スヘシ此段相達候事(但十三年度分モ本文ニ準シ本年十月限リ差出スヘシ

某郡協議費取調書

一金若干 郡内幾町村協議費 決算額

内譯

金

土木費

內

金

水利土功會ニ於テ
決議ノ分

衛生及病院費

教育費

戸長役場新築修繕
又ハ借家料

戸長役場諸費

教育費

何々費

何々費

右明治何年度郡内町村協議費取調進達仕候也

金

金

金

金

金

金

金

年月日

某郡長姓名印

縣令宛

○乙第七拾三號 五月廿四日 各郡町村

陸軍武官結婚條例別冊之通被定候旨其筋ヨリ達有之候條爲心得此段
相達候事

陸軍省達甲第拾三號 五月三日 府縣

陸軍武官結婚條例別冊之通被相定候條此旨相達候事

陸軍省

陸軍武官結婚條例別冊之通相定候條此旨相達候事

明治十四年四月二十五日 左大臣熾仁親王

陸軍武官結婚條例

第一條 凡ソ軍人ハ最モ其品位ヲ重ニス故ニ其配偶ヲ擇ミ以テ終身ノ活計ヲ維持セシメ家政ヲ治メテ以テ其職掌ヲ確守セシム若シ配偶其匹ヲ擇ハス之ヲ輕忽ニセハ一ハ以テ其品位ヲ傷ケ一ハ以テ其營生ニ煩ハサレ遂ニ其職掌ヲ汚シ隨テ全軍ノ精力ヲ殘フニ至ル仍テ左ニ其制限ヲ設ク

第二條 凡ソ軍人ノ結婚セント欲スル者將官並ニ同等官ニ在テハ勅許ヲ仰キ准士官以上ニ在テハ陸軍卿ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 下士卒常備服役中ハ結婚スルヲ許サス然レモ再服役以上ノ下土并ニ豫備後備軍服役中ノ下士卒ニ在テハ所管長官ノ許可ヲ受ケ結婚スルヲ得但憲兵并會計軍醫馬醫軍樂各部ノ下士卒ニ在テハ常備服役中ト雖モ所管長官ノ許可ヲ受ケ結婚スルヲ得

第四條 結婚ノ許可ヲ得ントスル者ハ第一號書式ニ照シ出願スヘシ

第五條 將官并ニ同等官ニ在テハ陸軍卿與書シ准士官以上ニ在テハ所管長官下士以下ニ在テハ所屬隊長〔課長〕豫備及ヒ後備軍下士以下ニ在テハ後備軍使府縣駐在官與書スヘシ

第六條 其娶ルヘキ婦人ハ行狀端正ノ者ニ非レハ結婚スルヲ許サス故ニ其行狀ヲ證スル爲メ第二號書式ニ照シ其婦ノ所在地戸長ノ調印シタル身元證書ヲ添フヘシ

第七條 現役士官并ニ同等官以下ニ在テハ家計保護金トシテ左ノ金額ヲ納メシメ陸軍省ニ之ヲ保存シテ以テ其生計ヲ保護セシム故ニ結婚出願ノ時第三號書式ノ證書ヲ出スヘシ

大尉並同等官

四百六拾圓

中少尉并同等官

六百圓

准士官

八拾圓

下士

八拾圓

第八條 第三條但書ニ載スル諸卒ニ在テ結婚スル時ハ第七條ニ準シ家計保護金ヲ納メシム其金額ハ下士ニ同シ

第九條 第七條ノ金額ハ本人又ハ其娶ルヘキ婦人ノ所有或ハ雙方ノ所有ヲ合シタルモ妨ケナシ

但シ公債證書ヲ以テ納ムルモ妨ケナシト雖モ大藏省定ムル所ノ價格ヲ以テ之ヲ算シ第七條ノ全額ニ相當セシム

第十條 結婚ヲ整ヘタル時ハ其旨速ニ届出ヘシ

但シ家計保護金ハ本文届出同時ニ差出ヘシ

第十一條 家計保護金ヲ還付スルハ左ノ項目ニ依ルヘシ

第一項 上長官ニ昇進セシ時

第二項 恩給ヲ受ルノ權利ヲ有スル時

第三項 本人死没スルカ又ハ現役ヲ離ルノ時

第四項 其妻離別スルカ又ハ死亡シタル時

第五項 天災地變ニ罹リ家産舉テ滅亡シタル時

第十二條 結婚願書式并ニ證書式左ノ如シ

第一號書式

結婚願

使府縣國郡區町村
族籍職業

何某何女(姊)(妹)

某

年號月日生
年號月何年何ヶ月

某儀

今般熟談ノ上右ニ記載ノ者ト結婚致シ度依テ別紙身元證書(家計保護金證書)相添差出候間御許可被下度此段奉願候也

年號月日

官姓名印

太政大臣(陸軍卿)(所管長官)宛

前書之趣篤ト取調候處不都合無之ニ付御許可相成度候也

陸軍卿(所管長官)(何隊長)(何課長)

官姓名印

第二號書式

身元證書

使府縣國郡區町村
族籍職業

何某何女(姊)(妹)

某

年號月日生
年號月何年何ヶ月

右ハ行狀端正ノ者ニ有之候此段致保護候也
使府縣國郡區町村戸長
區長アラサル地ハ

年號月日

姓名印

第三號書式

家計保護金證書

一金何百何拾圓也

右ハ今般結婚奉願候ニ付御許可ノ上ハ家計保護金トシテ可差出候也

年號月日

官姓名印

●乙第七十四號 五月廿四日 各郡町村

上申書ノ義ハ是迄一通ノミ差出來候處調理ノ都合有之候條自今後正副二通差出スヘシ此段相達候事

○乙第七十五號 五月卅日 各郡町村 衛生委員

今般甲第百號ヲ以テ飲水取締規則布達候ニ就テハ第二條但書ニ據リ届出候者有之節ハ町村衛生委員ニ於テ實地ヲ檢查シ實不際得己分ハ其周圍ヲ十分堅固ナラシメ汚水浸透ノ患ナキ様指示致スヘク此段相

達候事

○乙第七十六號 六月一日 各郡町村

本年第十五號公布ノ趣ニ據リ明治十二年(四月)乙第百七號ヲ以相達候國稅領收順序附錄別紙ノ通更正相成候條此段相達候事

國稅金領收順序附錄

一納稅期限ニ至リ若シ税金皆納シ能ハサル者アルトキハ別紙納稅切符第一雛形ノ如ク戸長ニ於テ其納金額ノ傍ヘ現ニ上納スル金額ヲ内書ニシ不納金額ヲ外書ニシ成規ノ順序ヲ經テ郡役所ヘ上納シ別紙納稅切符第一雛形トハ國稅領收順序中 且其不納者ノ住所姓名事由ニ示セル甲乙納稅切符ト知ルヘシ ナ詳記シテ郡長ニ告知ス可シ郡長ハ之ヲ得テ先ツ其不納金額ヲ別紙第三雛形ノ通不納額帳ニ登記シ之ト別紙第一雛形ノ甲切符ノ右

側ニ「イ」印ノ如ク割印ヲ捺シ而シテ其現納金額ヲ納額元帳ニ記入
シ其納稅切符ノ納金額ニ對シ領收ノ証印ヲ捺シ甲切符ハ戸長ニ付
與シ乙切符ハ收稅委員ニ送付スヘシ

一其不納者ノ處分ヲ爲シテ徵收シタル稅金ハ戸長ニ於テ別紙第二雜
形ノ通切符ヲ作り其金額ヲ大藏省爲換方へ相預ケ預リノ証印ヲ受
ケテ郡役所へ上納ス可シ郡長ハ之ヲ得テ其金額ヲ不納額帳ニ照合
シテ領收証ヲ交付シ切符ハ收稅委員ニ送付ス可シ

第壹雛形

所 郡	第何期納何年何月何日限	明治何年分地稅	郡 役
印	金百圓	何郡何村	印
內	領 郡 長	戶長	
外	收 印	何之誰 ○	
金九拾圓	納人		
右可相納候也	何月何日納		
明治何年何月何日	郡 不納		
印			

第二雛形

明治何年分地稅	第何期納何年何月何日限
高金百圓之內	金九拾圓
一金拾圓	何月何日納濟
何月何日不納處分濟進徵之分	何郡何村
右現金何月何日大藏省爲換方	何之誰分
又ハ何之誰	
何々銀行	
相預夕即上納候也	
何郡何村	
戶長	
何之誰 ○	
明治何年何月何日	

明治何年分地稅	第何期納何年何月何日限
金百圓	何郡
內	何村分
外	何月何日納
金九拾圓	
不納	
金拾圓	
右現金何月何日大藏省爲換方	何々銀行
又ハ何之誰	相預夕即上納候也
何郡何村	
戶長	
何之誰 ○	
明治何年何月何日	

第三離形

明治何年

何税不納額帳

何郡

此帳簿ハ各税納期ヲ過キ不納金額ヲ掲クルモノナリ
公賣處分等ニテ不納金額ヲ徴收セントキハ金員ノ傍へ何月何日處
分濟收入ト記入ス
若シ處分濟ノ上不納金額ニ不足ヲ生セントキハ内書ニ徴收ノ員額

ヲ掲ケ其下へ何月何日處分濟收入ト記入シ差引不足ノ金員ヲ傍へ
掲ケ其姓名事由等ヲ但書ニ詳記ス

何郡

何町
何村

(納稅切符イ印ト割印)

一金何程

何之誰分

但何々(事由記載)

何月何日處分濟收入

○乙第七十七號 五月卅一日 伊豫國各郡町村

山林地價額ハ不日示達ノ上受書爲差出尋テ新稅施行ノ儀布達ニ引續
キ地價帳可爲差出答ニ候處追々農事繁劇ニ際シ候テハ自然製帳遷延

ノ憂モ有之候間地價地租ノ廉ハ追テ右布達ノ上記入ノ積ヲ以豫メ地
價帳調整致置可申此段相達候事

○乙第七十八號 六月四日 各郡町村

町村會又ハ連合會等ニ於テ明治十年第六十六號公布利息制限法ニ抵
觸スル決議ハ不相成儀ト可心得此段相達候事

但從前抵觸ノ決議アル向ハ速ニ取消再議セシムヘシ

○乙第七十九號 六月七日 各郡町村 衛生委員

衛生事項通信手續別冊ノ通相定候條此段相達候事

緒言

一凡ソ人ノ健康ナルト否トハ事業興廢人智開否ノ岐路ニシテ苟モ屢
弱多病ナランカ富貴ノ人其智力ヲ揮フ能ハス貧賤ノ人其筋骨ヲ勞

スルニ勝ヘス家之カ爲ニ衰ヘ國之カ爲ニ耗シ復人間ノ幸福國家ノ富強ヲ望ム可カラサル固ヨリ論ナキヤリ然リ而シテ衆人各自ラ處スルノ實際ニ至リテハ毫モ其身体ヲ愛護シ健康ヲ保全スルノ念慮ナキ者ノ如キハ何ソヤ蓋シ本邦衛生事務ノ着手日猶淺ク自衛自愛ノ情未タ人心ニ洽カラス其意ノ注ク處多クハ淺近頃刻ノ間ニ止リ世ノ衛生事務ニ喋々スル者ト雖モ其注意或ハ深遠ナラス既ニ疾病死生ノ眼前ニ迫ルニ及ヒ始テ狼狽錯愕之カ防ヲ爲スニ過キサル猶火災ノ其家屋財産ヲ燒燼シ壯夫煙ニ咽ヒ老弱道ニ顛レ行路ノ人モ酸鼻ニ堪ヘサルノ慘狀アルモ其恐懼戒慎ノ念慮ハ火ト俱ニ消滅シテ之ヲ永久ニ保持スルヲ能ハサルカ如ク其人既ニ死シ其病既ニ癒ユルニ及ンテハ直ニ之ヲ度外ニ放抛シ未タ嘗テ其死ヲ致シ病ヲ

致スノ所因ヲ探究シ永遠之ヲ避クルノ方法ヲ求メサルナリ世人ノ此大夢ヲ呼醒シ諸般事物ノ得失利害ニ注意シ健康ヲ傷ヒ疾病ヲ致ス所以ノ原由ヲ考究シ之ヲ未萌ニ防キ人々身体精神ヲ強壯活潑ナラシムルノ基本ヲ建ルヲ以テ自今ノ急務トナサハルヘカラス是蓋シ衛生議會及ヒ局課委員等ノ設置アル所以ニシテ決シテ一時虎列刺病流行ニ由テ勿々此舉アリシニ非ラサルナリ今ヤ衛生事務ノ組織ハ議事ニ中央衛生會地方衛生會アリ行政ニ衛生局衛生課郡區役所衛生係町村衛生委員アリテ其体畧備レリト謂フヘシ而シテ衛生委員ハ民吏ヲ以テ最モ親シク人民ニ接シ且多少議事ニ關スル所アリ各地衛生事務ノ舉否ハ專ラ此委員負擔ノ深淺厚薄如何ニ在リト謂フモ不可ナカルヘシ然レ其用タル通信報告ノ順序方法尙ホ未タ

全ク備ラサレハ諸般ノ利害得失比隣ト雖モ或ハ其情況ヲ審ニスルニ由ナク耳目ノ觸ル、處心思ノ感スル處之ヲ等閑ニ付スル非ラサルモ之カ通信ヲ爲サ、ルコトアリ苟モ衛生法ヲ考究シ之カ基本ヲ立テント欲セハ必ス先ツ各地ノ景況ヲ詳悉シ慣習ヲ探究シ利害得失ノ實証ヲ歷舉シ判然明著黑白ヲ辨スルカ如クナラシメ其弊害ノ恐悞スヘキ者ヲ衆人ニ明示シ常ニ火災ノ將ニ眼前ニ興ラントスルカ如ク自ラ戒メ自ラ慎ムノ念慮ヲ抱持セシムルニ非ラサレハ未タ以テ世人ノ大夢ヲ呼ヒ醒スニ足ラス是今般通信手續ヲ設ケ實地ノ現狀ヲ採集スルノ舉アル所以ナリ各委員深ク此意ヲ体シ其通信報告スル所遺漏ナク誤謬ナクシハ中央衛生會地方衛生會ニ於テ其利害得失ヲ審議シ衛生局衛生課ニ於テ之ヲ實施スルニ至リ以テ衛生事

業ノ基本漸ク定リ災害ヲ未然ニ防ギ國家衰耗ノ源ヲ絶ツコト得テ期スヘキナリ

明治十四年六月七日

愛媛縣衛生課

衛生事項通信手續

第一條 衛生課ハ町村衛生委員トノ間ニ通信ノ方法ヲ設ケ各地衛生事項ノ報告ヲ収集ス因テ衛生委員ハ力メテ事實ノ觀察ヲ密ニ衛生課ニ通信スルコトヲ怠ラサルヘシ

第二條 一郡役所管轄内ヲ三部乃至五部ニ分ケ其部内町村衛生委員ノ公撰ヲ以テ同員中ヨリ通信擔當者一名ヲ設置スヘシ其任期ハ部内町村ノ協議ニ任ス

第三條 通信擔當者ハ一切通信ノ責ニ任スヘシ而シテ他ノ衛生委員ハ

必ラス其報告ヲ要スヘキ者ト認ムル事項ヲ通信擔當者ニ通知スヘシ（但通信擔當者ハ各町村衛生委員ノ通知スル事項ヲ取捨スルヲ得

第四條 通信擔當者ニ於テハ他ノ衛生委員ノ通知及ヒ自個ノ取調ヘタルモノニ其意見ヲ附シ事ノ緩急ヲ測リ毎週若クハ毎月郡役所ヲ經テ衛生課ニ送ルヘシ

但至急ノ事故ニ係ル者ハ直ニ電報シ若シクハ速ニ郵報スヘシ
第五條 衛生課ニ於テハ通信擔當者ヨリ送リタル通信ノ事項ハ之ヲ衛生局ニ報告シ且其利害ヲ察シテ之カ處分ヲ爲スノ基本ヲ立テ或ハ新聞紙ヲ以テ廣告シ又ハ特ニ關係ノ町村ニ通知スヘシ

第六條 通信ニ記載スヘキ事項ハ概略左ニ列記スル者ニ準スヘシ

但傳染病者ノ報知及ヒ出產死亡等ノ月報ノ如キ別ニ例規アルモノハ此規則ノ限ニアラス然レモ或ハ例規アル報告ト此通信ト重複スル事アルモ妨ナシ

第一項 町村若クハ其一部分ノ面積人口總計其住民ノ職業農工商若クハ漁樵等ノ區別如何ニシテ一ヶ月或ハ幾週間ノ（氣候等ノ常ニ異ナルヲアラハ之ヲ記ス）出產死亡流產疾患ノ數前年ニ比シ又ハ各町村互ニ相比スルニ其多寡如何而シ其死亡ハ何病ニ因ルカ老人多キカ小兒多キカ男子多キカ婦人多キカ又ハ死亡ニ至ラサルモ何病ニ罹ル者多キカ及其原因ノ探知スヘキ者（地形寒暖晴雨其他衣食住習慣等ノ景況）之ニ關係アル衛生上ノ全況ヲ報告スル事

第二項 山林ヲ伐リ水路ヲ換ヘ田圃ヲ廢シテ居宅ト爲シ湖海ヲ埋メテ耕地ト爲ス等ノ人爲ニ依リテ氣候ヲ變シ或ハ飲水ヲ汚レユレカ爲メニ疾病ヲ誘發シ若クハ死亡ヲ増加シタル等又ハ地形ヲ改メテ荒蕪ヲ修良シ或ハ潜水ヲ疏通シ沼池ヲ汲竭スル等ノ爲メ疾病死亡ノ員數ヲ減シタル等ノ景況ヲ報告スル

第三項 脚氣間歇熱黴毒癩病其他肺癆ノ如キ較著ナル疾病ノ流行増減發熄及ヒ其原因療法治死等又ハ各村互ニ相比レ或ハ之ヲ往年ニ比スルニ多寡増減アル等ヲ報告スル

第四項 何病ニ拘ラヌ其性狀常ニ異ナルカ又傳染若クハ流行ノ兆アル者ハ其景況ヲ詳報スル

第五項 傳染病者アルルハ例規ノ届ヲナスノ外別ニ其原因景況等

ヲ詳報スル

第六項 獸畜流行ノ病其性人類ニ流傳スヘキ者アルルハ之カ緩急及其流傳ノ景況ヲ報告スル

第七項 町村内ニ醫師ナク或ハ近傍醫師ニ乏シキカ爲メ患者アルモ醫藥ヲ得カタク醫師ノ診察ヲ受クルヲ能ハサル等ノ景況又ハ町村醫ヲ設クルニ貧民救療ノ便否如何及其救療ヲ受ケタル患者ノ多寡ヲ報告スル

第八項 種痘ノ方法ヲ設ケ其普及ヲ謀ルニ接種ヲ乞フ者數年前ニ比スレハ或ハ増シ或ハ減シ未痘兒ハ幾名ニシテ其町村一年以下又ハ五年以下人口ノ幾分或ハ再三種ノ數幾計ニシテ其感不感ハ接種者幾分ノ比例ニ居ル等ヲ報告スル

第九項 劇藥毒藥質敗藥墮胎藥ノ取締ニ關セル事故及其誤用等ノ顛末ヲ報告スル

第十項 製藥營業ノ盛衰利害及故サヲニ粗惡品質品等ヲ製造スルノ惡弊アルキハ之ヲ報告スル

第十一項 賣藥營業請賣行商ノ取締及其受持部内人民ノ賣藥ヲ信用スルノ深淺其他針灸咒詛等ノ事ヲ信仰スルノ弊アルキハ之ヲ報告スル

第十二項 井戸若クハ水道ノ構造ヲ改良シ或ハ從前河水ヲ飲用スルノ習慣ナリシカ之ヲ廢シテ新ニ井ヲ掘リ又ハ其河水ヲ濾過スルノ方法ヲ設ケタル景況及其成果如何ヲ報告スル

第十三項 魚鳥獸肉若クハ牛乳等及飲食物ノ販賣取締ヲ爲シタル

景況又ハ其腐敗若シクハ廢造ニ係ル者ヲ發見シ或ハ之ヲ食シテ其害ヲ被ルモノアル等ヲ報告スル

第十四項 飲食物及玩弄品ノ著色料顔料染料等ノ有害物ヲ發見シ又ハ其害ヲ被リタル者アル等ヲ報告スル

第十五項 飲食物其他諸般ノ中毒ニ罹ル者アリタル顛末ヲ報告スル

第十六項 街路溝渠家屋廁圍等ノ不潔ナルカ又ハ構造粗惡（其景況ヲ記スヘシ）ナルカ爲健康ヲ害シ疾病ヲ發シ又ハ人ニ快適ナラサルヲ以テ其改良（其方法ヲ記スヘシ）ヲ爲シタル景況及其成果如何ヲ報告スル

第十七項 市場屠場畜場魚干場肥料置場等モ亦前項ニ準シテ之ヲ

報告スルコト

第十八項 工場製造場等アリテ近隣ノ空氣河水若クハ井水ヲ汚染シ其他不快ノ惡臭劇烈ノ音響等ヲ放發シ人ノ健康安寧ヲ妨害スルノ景況或ハ其妨害ノ改良ヲ謀リタル顛末ヲ報告スルコト

第十九項 學校病院救濟院囚獄旅籠屋借屋芝居貸座敷湯屋温泉場等ノ清潔法及構造法ノ不適ナルヨリ人ノ健康ヲ害スルノ景況並ニ其實驗及改良法等ヲ報告スルコト

第二十項 墓地ノ位置地形並埋葬法火葬法ノ利害及其改良法等ヲ報告スルコト

第二十一項 衣食住其他婚嫁ノ遲速職業風俗ノ健康ヲ害スヘキ景況並ニ其實驗若クハ意見及改良法等ヲ報告スルコト

第二十二項 癲狂白痴聾啞盲ノ人員ハ幾許ニシテ各町村互ニ相比シ或ハ之ヲ往年ニ比スルニ多寡増減アル等ヲ報告スルコト

第二十三項 學校ハ課業時間ノ長短教場ノ廣狹及其裝置等學校衛生法ニ適セス現ニ生徒ノ健康ヲ害スルカ或ハ其虞アル等ノ景況ヲ報告スルコト

第二十四項 製造場及鑛坑ハ空氣ノ流通宜シカラス又ハ操業時間長キニ過キ或ハ年少ノ男女ヲ強使シテ健康ヲ害スル等ノ景況ヲ報告スルコト

第七條 通信ハ勉メテ平易ノ文ヲ用ヒ虛飾失實ノ弊ナキヲ要ス其得失利害ノ關涉大ナル者ハ最注意スヘシ

第八條 通信中數量其他統計ニ屬セル者ハ表ニ製シ中毒品其他試驗

ヲ要スヘキ物品及文字ヲ以テ明記シ難キ者ハ現品若クハ圖解ヲ添フヘシ

第九條 各地方言等ノ一般ニ解得シ難キ者ハ傍訓ヲ施シ説明ヲ加フヘシ

第十條 衛生課ハ衛生事項ニ付疑義ノ質問ヲ受ルルハ懇ニ其答解ヲ爲スヘシ若シ本課ニ於テ答解ヲ盡ス能ハサル者ハ地方衛生會若クハ衛生局或ハ中央衛生會ニ質義シ又ハ之ヲ廣告シテ一般衛生學家ニ問究スヘシ

第十一條 衛生課ハ衛生事項ニ付各衛生委員ニ質問シ又ハ調査ヲ爲サシムルコト有ルヘシ

●乙第八十號 六月十一日 伊豫國各郡町村

明治十四年分郡村地稅之義ハ本額ヲ以割賦帳可下渡之處十一年以後荒地起返リ其他遺地拂下地等ニ係ル地租夫々増減差引調査ヲ遂ケ地稅帳編製順次決算之上ナラテハ本年ノ租額確定難致義ニ付昨十三ノ假額ニ雜種地等有之分ハ一村辻該改租額及山林改租見込額トナ合セ舊山野稅之名義ニテ徵收シタル全額ヲ除去シ本年ノ假額ト定徵收之上追テ過不足決算候條其旨相心得期限ヲ愈ラヌ上納候様豫テ人民ヘ可申聽置最割賦帳之義ハ追テ可下渡此段相達候事

但シ市街地稅ノ義ハ昨十三年假額通上納候義ト可相心得候事
●乙第八拾壹號 六月十五日 各郡町村

客年月十一 乙第百三十八號ヲ以テ相達置候趣モ有之候處通運會社無之地方へ官吏以下派遣之際人馬繼立方申入ル、モ尙往々差支有之哉

相聞候條右等ノ町村ニ於テハ自今最寄通運會社繼立賃錢ノ振合ヲ以テ某町村ヨリ前後町村ヘノ里程ニ依リ相當ノ賃額相定メ別紙雛形ニ照準シ至急可届出此段更ニ相達候事（但人民於テ不得止場台ニ際シ人馬繼立方等請求候者有之節モ同様可取扱事
雛形用紙美濃
形白紙

公私諸荷物繼立方之儀ニ付御届

一當町ヨリ何町迄里程何里何町

一人足物量目何貫目迄 一人分

此賃錢何程

但何貫目以上何百目毎ニ何程宛割増

一宿駕 何人分 但手荷物何貫目迄

此賃錢何程

一人力車 壹 輛 但手荷物何貫目迄

此賃錢何程

但二人乗ハ何程

一馬荷物 壹 駄 何貫目迄

此賃錢何程

但何貫目以上何百目毎ニ何程宛割増

一夜行並急行又ハ雨雪等ノ爲メ行路難澁ノ時ハ其景況ニ據リ賃錢高ノ何割ヨリ少ナカラス何割ヨリ多カラサル割増

一人馬車トモ橋錢渡船賃ハ其備主ヨリ支辨ノモノトス

右之通當町内協議ヲ遂ケ相定候間此段御届仕候也

何郡何村

總代人

某 印

右町戸長

某 印

年號月日

縣令宛

○乙第八拾貳號 六月十五日 各郡町村

今般甲第百五號ヲ以布達候ニ付テハ戸長役場於テハ豫テ印鑑帳備置
キ爾後其身上ニ係ル諸般ノ事件及ヒ土地建物賣買讓渡質入書入等ノ
節ハ必ス印鑑帳照鑒ノ上公証可取計此段相達候事

○乙第八十三號 六月廿五日

陸軍各兵曹長及ヒ軍曹常備服役中行狀方正勤務勉勵ニシテ或ハ材幹
アリ或ハ學藝熟達シ後備軍士官適當ノ者ハ別紙士官適任證書附與概
則ニ據リ常備服役滿期ノ節士官適任證書附與候旨今般陸軍省ヨリ達
相成候條爲心得此段相達候事

士官適任證書附與概則

第一條 士官適任證書ハ各兵曹長及ヒ軍曹常備服役中行狀方正勤務
勉勵ニシテ或ハ材幹アリ或ハ學藝熟達シ後備軍士官適當ノ者ニ常
備服役滿期ノ時ヲ以テ附與スル者トス

但再服役ノ曹長或ハ軍曹ニシテ本條ニ適當スルキハ其滿期ノ時
附與スヘシ

第二條 此證書ハ其隊長聯隊若クハ獨立ヨリ本人へ附與スルヲ法ト

ス故ニ該隊ニ於テ當撰者ノ常備服役(再服役)滿期ニ先タテ近衛ハ
都督鎮臺ハ司令官ヘ申告シ許可ヲ受クヘシ

第三條 證書ヲ附與セシ者ハ他日之ヲ要スル時即チ士官ニ任用スル
者ナレハ證書附與ノ人員ヲ撰擧スルハ該隊長ニ於テ細心注意シ必
ス之ヲ輕忽ニスヘカラス

第四條 士官適任證書ハ近衛或ハ鎮臺ニ於テ雛形ノ如ク調製シ附與
スヘキ人ノ數ニ應シ該隊ニ送附スヘシ

第五條 證書ヲ附與スル時ハ各自ノ手帖ニ其由ヲ記載スヘシ

第六條 證書ヲ附與セシ時ハ近衛或ハ鎮臺ヨリ本人ノ考科表ヲ添ヘ
速ニ陸軍省ヘ届出ヘシ

第七條 士官適任證書所有者ヲ士官ヘ撰擧スル手續ハ別ニ定ムル所

アリ因テ茲ニ之ヲ掲ケス

(士官適任證書雛形畧之)

○乙第八十四號 六月廿八日 各郡町村

租稅不納處分手續左之通更定候條此段相達候事

但此達ニ矛盾スル從前ノ達指令等ハ總テ消滅ト心得ヘシ

第一條 地稅徵收期限ヲ過キ不納ノ者アレハ戸長ニ於テ一町村限り
不納金員人名取調別紙第一號書式ニ倣ヒ期限後五日以内ニ郡長エ
届出ヘシ

第二條 船稅車徵稅收期限ヲ過キ不納ノ者アレハ期限翌日戸長并用
掛^{或ハ}筆生^{立會之上該船車及附屬品共差押置鑑札引揚別紙第二號}
書式ニ倣ヒ期限後五日以内ニ郡長エ届出ヘシ(但用掛筆生ヲ置サ

ル役場ハ別ニ立會ヲ要セス第三條ノ場合ニ於テモ亦同シ

第三條 諸營業稅及酒造石稅徵收期限ヲ過キ不納ノ者アレハ期限翌

日戸長并用掛

〔或ハ筆生〕

立會ノ上諸營業ニ屬スル製造品器物等無遺

漏取調差押置又ハ其製造品器物等無之者共總テ營業ヲ停止シ鑑札

引揚別紙第三號第四號書式ニ倣ヒ期限後五日以内ニ郡長エ届出ヘ

シ(但届出ノ節差押タル製造品見積代價記載スヘシ若シ代價見積

リ立難キモノハ評價人ヲ雇入ルモ妨ケナシ

第四條 郡長ニ於テ第一條第二條第三條ニ掲クル戸長ノ届書ヲ得レ

ハ不納額帳照査上速ニ公賣處分方ヲ戸長エ達シ第六條ニ掲クル

揭示ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 第一條以下不納届出ノ場合ニ於テハ地所船舶等書入質入公

證ノ有無ヲ戸長ヨリ郡長エ不納届ニ添届出ヘシ其公証ヲ與ヘタル
分ハ債主ノ住所姓名金額等詳細記載スルモノトス

第六條 財産公賣ノ節ハ別紙第五號書式ニ倣ヒ左ノ場所エ日數十
日以内適宜揭示スヘシ

一 郡役所戸長役場ノ揭示場 一 不納者居宅門前

一 右之外最寄揭示場

第七條 公賣品入札ハ戸長ニ於テ取纏メ直ニ郡長エ差出シ郡長ハ速
ニ開札ヲ爲シ其落札ヲ戸長エ達スヘシ

第八條 戸長ハ入札心得書ノ規定ニ據リ公賣代金ヲ徴シ別紙第六號
書式ノ預リ証書ニ第七號書式ノ公賣費用明細書ヲ添ヘ郡長エ差出
シ指揮ヲ待ツヘシ尤公賣ニ關スル費用概目左ノ通心得ヘシ

一筆墨紙代 一評價人ヲ雇入ル、キハ其賃金

一物品ニ寄り取纏メ等人夫ヲ雇入ル、キハ其賃金

第九條 郡長ニ於テ第八條ニ掲クル戸長ノ証書類ヲ得レハ明治十年第七十九號公布第四條ニ照準處分ヲ爲スヘシ

但他ノ負債ノ爲メ身代限處分ニヨリ裁判官ニ照會シ公賣シタル分ハ成規ノ通徴收ヲ了リタル後還付或ハ給付スヘキ餘金アルハ之ヲ裁判官ニ引渡スモノトス

第十條 公賣處分ハ納期翌日ヨリ日數卅日以内ニ完了スヘキ者トス

第十一條 若シ財産公賣代價不足ナル乎或ハ買受望人無之完納ノ場合ニ至ラサル分ハ處分濟ノ後日數五日以内納期翌日ヨリ三十五日以内ニ事由ヲ具シ勘定拂ノ儀郡長ヨリ上申スヘシ

第十二條 別紙第五號入札心得書ニ掲クル如ク若シ落札取消或ハ再入札等ノ場合ニ至レハ郡長ニ於テ適宜處分方速ニ執行スヘシ

但再入札等ニテ成規ノ日數内完了シ能ハサル場合ニ於テハ其事由一應郡長ヨリ闡申スルモノトス

第十三條 第一條第二條第三條ノ如ク戸長ヨリ届出タル後該金納方申出ル者アルキハ戸長ニ於テ之ヲ取立其事由ヲ記載シタル人名仕譯書相添郡役所へ上納ノ手續ヲ爲スヘシ(但本文ノ場合ニハ第二條形納稅切符書式中(處分濟追徴)ヲ(處分中上納)ト訂正スヘシ

第十四條 郡長ニ於テ第十三條ニ掲クル上納ヲ受タルキハ之ヲ不納額帳ニ照查收入シ公賣揭示取消ヲ計フヘシ

第十五條 徴收期限ヲ過キ不納ノ者戸長ニ於テ取調中ニテ未ダ郡長

エ届出サル内該金納方申出ル者アルキハ第十三條ノ手續ニ準シ取
扱ヒ國稅領收順序附録ノ手續ヲ履ムヘシ

別紙

第一號

明治何年分地稅未納ニ付届

第何期何年何月何日限

何郡何町

一金何程

何 某

右ニ係ル地所

番號字

一何地何程

〔田畑宅地等種目一
筆限リ記載スヘシ〕

此券面代價何程

此地稅金何程

(以下幾名アルモ右ニ倣ヒ列記スヘシ)

右不納取調相違無之此段御届仕候也

何郡何町

戸長

年號月日

何 某 印

郡長宛

第貳號

明治何年分^{船車}稅未納ニ付届

納期何年何月何日限

前屋頂裏

乙號

〇百三十

一金何程

何郡何村

何

某

右器物

一何船何丸何石積或ハ長何間等

壹艘

一右附屬何々

何程

同稅ニテ數名アルキハ右ニ倣ヒ列記スヘシ以下準之

納期何年何月何日限

何郡何村

何

某

一金何程

右器物

鑑札何號

一何車何人乘人力車或ハ何々

壹輛

一右附屬何々

何程

右税金不納ニ付該車船附屬品共差押置引揚候鑑札相添此段御届仕候也

何郡何村

戸長

年號月日

何

某

印

郡長宛

第三號

明治何年分何稅未納ニ付届

納期何年何月何日限

鑑札第何號

何郡何村

一金何程

何 某

右ニ係ル物品

一製造何品

何程 {每品廉限リ
記載スヘシ}

此凡積代價金何程

一器物何々

何程(前ニ同シ)

{同税目ニテ數名アルキ
ハ右ニ倣ヒ列記スヘシ}

右税金不納ニ付製造品器物共差押置營業差止メ引揚候鑑札相添
此段御届仕候也

何郡何村

戸長

年號月日

何 某 印

郡長宛

第四號

明治何年分何税未納ニ付届

納期何年何月何日限

鑑札第何號

何郡何村

一金何程

何 某

右税金不納ニ付實際篤ト遂取調候處營業ニ屬スル物品無之ニ付營業差止メ引揚候鑑札相添此段御届仕候也

何郡何村

戸長

年號月日

何 某 印

郡 長 宛

第五號

記

何那何村何某所有

何那何村何某所有

一何地何程

此一ヶ年地租金何程

何那何村何某所有品同人方ニ有之

一何品

何程

一同

同

右之通公賣致候條望之者ハ左之件々相心得^{實地}見分之上廉限リ代價ヲ付シ何月何日午^前後第何時迄ニ何那何村^{戸長役場}エ入札可差出事

入札心得

一落札之者ハ落札ヲ達シタル即日金高十分ノ一^{金百圓ニ付拾圓}ヲ相納メ

同日ヨリ日數五日以内ニ殘金皆納^{地所}物品^{地所}受取ヘシ

但都合ニヨリ即日代價皆納^{地所}物品^{地所}受取方申出ルハ妨ケナシ

一落札ヲ達シタル即日金高十分ノ一ヲ納メサル者ハ其落札ハ取消スヘシ

一即日金高十分ノ一ヲ納ムル^モ期限迄ニ殘金ヲ皆納セサレハ其落

札ハ取消シ前日納メタル十分ノ一ハ違約金トシテ沒收スヘシ

一 即日金高十分ノ一ヲ納メタル後落札取消ヲ申出ル者ハ前日納メタル十分ノ一ハ違約金トシテ沒收スヘシ

一 前條落札取消ノ上ハ金高ノ當不當ニヨリ二番札ヲ取り又ハ更ニ入札セシムヘシ

一 入札金高總テ不相當ト見認ルキハ落札致サヌ再ヒ入札セシムルコアルヘシ

一 開札ノ後書損違算等ノ廉ヲ以テ入札取消ノ儀ヲ申出ルニ採用不致事

年號月日

郡 名

第六號

預リ證

一金何程

公賣代金

是ハ何町何某明治何年第何期地稅或ハ前(後)半期分何稅不納ニ付財產公賣代

金何町何某落札皆納ノ分

右正ニ相預リ置候也

何那何町

戸長

年號月日

何 某 印

郡 長 宛

第七號

公賣費用明細書

一金何程

何那何町(村)何某所有地
所(物品)公賣ニ係ル分

内

金何程

何々

金何程

何々

右相違無之候條公賣代金之内ヲ以御渡相成度候也

何郡何村

戸長

年號月日

何 某 印

郡 長 宛

○乙第八十五號 六月廿九日 各郡町村

和税不納者其時々處分ノ上徴收不足有之後年追徴ヲ要スル分取扱手續左ノ通可相心得此段相達候事

但此達ニ矛盾スル從前ノ達指令ハ消滅ト心得ヘシ

第一條 身代限徴收不足扱方

第一節 明治十年第七十九號公布以前諸税不納ニ付身代限處分或ハ他ノ負債ノ爲メ身代限處分ノ上税金及怠納金等徴收不足有之本人ハ勿論相續人ニ至ル迄身代持直シ次第上納スヘキ分ハ郡役所及ヒ戸長役場ノ帳簿ニ明記シ置其身代持直シ次第徴收方戸長ニ於テ最モ注意スヘシ

第二節 本人及相續人他町村へ送籍ノ節ハ戸長ヨリ其書類ヲ受籍戸長エ引繼キ其趣郡長エ届出ヘシ

第三節 本人及相續人他郡へ送籍ノ節ハ戸長ヨリ郡長エ届出郡長ヨリ其書類ヲ該郡長エ引繼キ其趣當廳エ届出ヘシ

第四節 前節引繼ヲ受タル郡役所ニ於テハ之ヲ帳簿ニ登記シ其者ノ籍地ノ戸長ニ達シ戸長ハ第一節ノ手續ニ據リ取扱フヘシ

第五節 本人及相續人他府縣下エ送籍ノ節ハ戸長ヨリ郡長エ届出郡長ヨリ其書類ヲ送籍地ノ郡區長エ引繼キ其趣當廳エ届出ヘシ

但縣稅并怠納金ノ分ハ後年徵收ノ節該金廻附ヲ要スル旨通牒スルモノトス

第六節 前節縣稅并怠納金ノ分後年該郡區ヨリ舊所轄郡ヘ廻金セシキハ郡長ヨリ其趣當廳エ届出上納ノ手續ヲ爲スヘシ

第二條 公賣處分徵收不足扱方

第一節 明治十年第七十九號公布以後諸營業稅等不納ノ者物品公賣ノ上不足ヲ生シ或ハ公賣スヘキ物品無之損失ニ歸シタルハ後來再

營業ヲ願出ルル最前ノ損失金ヲ上納セシメタル上許可スヘキニ付右損失ニ係ル分ハ郡役所及ヒ戸長役場ノ帳簿ニ明記シ置本人及相續人タル者後年再ヒ前業ヲ營マンコトヲ願出ルルハ戸長ニ於テ最前ノ損失金ヲ徵收スヘシ

第二節 本人及相續人タル者他町村又ハ他郡エ寄留送籍ノ節ハ第一條第二節第三節第四節ノ手續ニ據リ取扱フヘシ

第三節 國稅ニテ官損ニ歸シタル分本人及相續人タル者他府縣下エ寄留送籍ノ節ハ第一條第五節ノ手續ニ據リ取扱フヘシ

但地方稅ノ損失金再營業ノ節追徵スルハ管内ニ止マルモノトス

第三條 雜則

第一節 第一條第二條ニ係ル分後年徵收ノ節ハ年度后追納トシ其收

入年度ノ仕上タルヘシ

第二節 第一條第五節但書ニ掲クル分ヲ除クノ外總テ他郡區エ引繼キタル分後年徴收セシキハ該郡區ノ勘定ニ属シ舊所轄郡ニ關係ナキモノトス

第三節 他府縣郡區ヨリ第一條第二條ニ係ル引繼キヲ受タルキハ速ニ當廳ヘ届出前各條ノ手續ニ準シ取扱フヘシ

○乙第八十六號 六月三十日 各郡町村 學務委員 學校教員

本縣學事表簿取調心得別紙之通相定候條七月一日ヨリ施行可致此段相達候事（但表簿雛形ハ即今調製中ニ付不日各郡町村へ下渡候條此旨可相心得事

學事表簿取調心得

甲號表簿ハ町村立小學校私立小學校及町村立諸學校（小學校ニアラサルモノ）

或ハ教員ノ掌ルモノナリ

乙號表簿ハ學務委員ノ掌ルモノナリ

丙號諸表ハ郡區長ノ掌ルモノナリ

右諸種ノ表簿ハ必ス正副二本ヲ製シ其一本ハ主務ノ所ニ留メ之ヲ保存スヘシ

甲號學校長教員ノ部

第一式甲生徒學籍簿

此學籍簿ハ各學校ニ於テ必ス備フヘキモノニシテ男女ハ其帳簿ヲ區別シテ之ヲ記入スヘシ其記入ノ順序左ノ如シ

- 一 番號(入籍順)入學年月日、生徒姓名、年齡、從前ノ教育、父母或ハ後見人ノ姓名、住所及族籍、職業ハ生徒入籍ノ際之ヲ記入スヘシ但小學校ニ於テハ每年末學務委員ヨリ回送スル學齡兒童姓名簿ニ就キ番號生徒姓名從前ノ教育父母或ハ後見人ノ姓名住所及族籍、職業ノ項々ヲ詳記シ入學年月日及ヒ年齡ハ生徒入學ノ際之ヲ記入スヘシ
- 一 以上ノ順序ヲ經テ記入セル生徒ノ姓名等ハ之ヲ再記スヘカラス

- 一 入級年月日ハ生徒所修ノ教科即チ小學校ニ於テハ初等中等高等中ノ級別ニ隨ヒ其入級スル毎ニ之ヲ記入スヘシ
- 一 退學年月日退學ノ理由ハ生徒就學中或ハ他ニ轉籍シ或ハ小學校ニ於テハ小學全科又ハ小學校三ヶ年ノ課程ヲ卒テ他ノ學科ヲ修メ或ハ職業ニ就ク等ノ類ヲ別々之ヲ詳記シ特ニ品行性質ノ如キハ教員宜ク各生徒ニ就テ之ヲ詳記スヘシ

第一式乙イロハ分名簿

此分名簿ハ學籍簿ニ屬スルモノニシテ生徒ノ姓名及番號ヲ學籍簿(第一式甲)ニ登載スルトキハ直ニ之ヲ分名簿中ニ轉寫シテ他日ノ追索ニ備フヘシ

一 生徒ノ姓名ハ頭字ノ順序ヲ以テ列記スヘシ

一番號ハ學籍簿中ノ番號ヲ記入スヘシ

第二式 生徒出席簿

此出席簿ハ各學校毎級受持教員ヨリ毎月末之ヲ學校長或ハ首坐教員ヘ出スヘシ

一 生徒ノ姓名ハ其學力ノ優劣ニヨリテ其順序ヲ定メ毎日適宜ノ時間

ニ於テ教員自ラ生徒ヲ點檢シテ出席若クハ缺席ノ符號ヲ其日ノ欄

内ニ填記スヘシ

一 出席數ハ毎生徒ニ就テ一月間ノ出席數ヲ記入シ日々出席數ハ全級

生徒日々ノ出席數ヲ合算シテ最後ニ其總計ヲ掲クヘシ

一 授業時間ハ一日間定規ノ授業時間ヲ掲クヘシ

一 授業日數ハ一月間ノ授業日數ヲ記スヘシ

一 在級生徒數ハ本級ニ在學セル生徒ノ現數ヲ合算シテ之ヲ記入スヘシ

シ

一 出席生徒數ハ此在級生徒中一月間ニ出席セシ人員ノミヲ掲記スヘシ

シ

一 生徒出席總數ハ此在級生徒ノ一月間ノ出席總數ヲ記入スヘシ

一 日々出席平均數ハ一月間ノ授業日數ヲ以テ一月間生徒出席總數ヲ

扣除シタル計數ヲ記入スヘシ

第三式 半年末調査表

此調査表モ亦出席簿ノ如ク各學校毎級受持教員之ヲ調製シ其月ノ出席簿ニ副テ之ヲ學校長或ハ首座教員ニ出スヘシ

一 授業時間ハ一日間定規ノ授業時間授業日數ハ半年間ノ授業日數ヲ

掲クヘシ

一 出席日數ハ各生徒半年間ノ出席日數ヲ記入シ且生徒全員中ニ就テ其日數ノ最モ多キモノヲ採テ之ヲ出席最多日數ノ欄内ニ記入スヘシ

一 年齢ハ各生徒ニ就テ之ヲ記シ且生徒全員中ニ就テ平均ノ年齢ヲ算シ之ヲ全級生徒平均年齢ノ欄内ニ記入スヘシ

一 入學後年月數ハ各生徒ニ就テ幾年幾月ト記載シ之ヲ平均シテ入學後平均年月數ノ欄内ニ記入スヘシ

一 在級生徒數、出席生徒數、生徒出席總數及日々出席平均數ノ記入ノ方法ハ出席簿ト同一ニシテ只月末ト半年末トノ別アルノミ

第四式 年末調査表

此調査表モ亦半年末調査表ノ如ク各學校毎級受持教員之ヲ調製シ其月ノ出席簿及半年末調査表ニ副テ之ヲ學校長或ハ首座教員ニ出スベシ

一 授業時間、授業日數、出席日數、年齢、入學後年月數等記入ノ方法ハ半年末調査表ト同一ニシテ只半年ト全年トノ別アルノミ

一 此表ニ於テハ特ニ前後半年末調査表ヨリ其各半年末ノ在級生徒數、出席生徒數、生徒出席總數及日々出席平均數ノ數項ヲ採記シ又全年ノ部ニハ在級生徒及出席生徒數ハ其年末ノ現數ヲ掲ケ生徒出席總數ハ前後半年ノ計數ヲ合記シ平均數ハ全年間ノ授業日數ヲ以テ此前後半年間ノ生徒出席總數ヲ扣除シテ之ヲ掲クヘシ

以上ノ表簿ハ生徒ヲ級別セサル學校ニ於テハ之ヲ全校ニ應用スル

一ヲ得ルト雖モ男女ハ必ス其表簿ヲ異ニスヘシ

第五式 全校月末調査表

此調査表ハ生徒ヲ級別セル各學校長或ハ首座教員之ヲ製シ毎月末各級受持教員ヨリ出ス所ノ出席簿ニ副ヘテ之ヲ學務委員ニ出スヘシ但各級教員ヨリ出ス所ノ出席簿ハ其級ノ順序ニ從ヒ之ヲ釘綴シテ一簿冊ト爲スヘシ

一此表中ニハ各級出席簿中ノ諸數ヲ採リ級ノ順序ニ從テ之ヲ記入スヘシ

一在籍生徒トハ本校ノ學籍ニ在ル所ノ生徒ニシテ此表ニ於テハ其數ヲ級別シテ記入スヘシ

第六式 全校半年末調査表

此調査表モ亦全校月末調査表ノ如ク生徒ヲ級別セル各學校長或ハ首座教員之ヲ製シ各級出席簿、半年末調査表及全校月末調査表ニ副テ之ヲ學務委員ニ出スヘシ

一此表中ニハ全校月末調査表中ノ諸數ヲ月別ノ之ヲ記入シ且半年末ノ欄内ニハ其半年末ノ現數ニ就テ男女ヲ別記シ其總計ヲ掲クヘシ

第七式 全校年末調査表

此調査表モ亦全校半年末調査表ノ如ク學校長或ハ首座教員之ヲ製シ各級出席簿、半年末調査表、年末調査表、全校月末調査表、半年末調査表及學校年末統計表ニ副テ之ヲ學務委員ニ出スヘシ

一此表中ニハ全校前後半年末調査表中ノ諸數ヲ掲ケ且年末ノ欄内ニハ其年末ノ現數ニ就テ男女ヲ別記シ其總計ヲ掲クヘシ

第八式 小學校年末統計表

此統計表ハ生徒ヲ級別シ又ハ級別セサル小學校長或ハ首座教員毎年
末ニ於テ以上掲クル所ノ諸表簿ヨリ其計數ヲ採配シ全校年末調査表
(第七式)ト共ニ必ス之ヲ學務委員ニ出スヘシ但書籍、教授器械及學
校器具ハ其現數ヲ計記シ又初等、中等及高等科卒業ノ別ハ適宜ノ符
號ヲ以テ之ヲ記スヘシ

第九式 町村立諸學校年末統計表

此統計表ハ生徒ヲ級別シ又ハ級別セサル諸學校長或ハ首座教員毎年
末ニ於テ以上掲クル所ノ諸表簿(第八式ノ外)ヨリ其計數ヲ採記シ全
校年末調査表(第七式)ト共ニ必ス之ヲ學務委員ニ出スヘシ但書籍、
教授器械及學校器具ハ其現數ヲ計記シ又上等及下等科等卒業ノ別ハ

適宜ノ符號ヲ以テ之ヲ記スヘシ

乙號學務委員ノ部

第一式 學齡簿

此學齡簿ハ各學區學務委員之ヲ掌リ其管内學齡兒童ニ係ル一切ノ事
項ヲ詳記スヘシ其記入ノ方法左ノ如シ

一學齡兒童ノ姓名ヲ記入スルニ寄留ノ者ハ其姓名ノ肩ニ(寄)ノ字ヲ
記スヘシ

一學齡ニ入り及ヒ學齡ヲ終ル年月日ハ兒童ノ生日ヨリ起算シテ六歲

ニ至ルヲ學齡ニ入ルノ年月日トシ再ヒ起算シテ十四歲ニ至ルヲ學
齡ヲ終ル年月日トシテ之ヲ記スヘシ

一就學不就學區別ノ小欄ニハ兒童入學ノ歲時ヲ詳記シ不就學ノ者ハ

疾病、親族疾病、癱疾、貧窶等ノ如キ已ムヲ得サルノ事故又ハ謂レ
ナク就學セサリシ者ヲ查記シ既ニ初等小學校ヲ卒ヘタル學齡兒童
ニシテ就學スルコト能ハサル者ハ他ノ學科ヲ修メ其他疾病等ノ事
故又ハ職業ニ就ク等ノ如キ理由及謂レナク就學セサリシ者ヲ查記
スヘシ

一 巡回事業及家庭ノ教育ニ就ク者モ亦一々之ヲ區別スヘシ

一 兒童ノ轉居スル所ハ何地ヘ轉籍或ハ移住ト記シ以テ其府縣郡區管
轄ノ内外ヲ區別スヘシ又死亡スル所ハ其年月日ヲ記スヘシ

一 族籍ハ華、士、平、職業ハ庶業(庶業トハ官吏、學者、醫者等)農、工、
商及勞力(勞力トハ漁樵傭等)ノ別ヲ以テ之ヲ記入スヘシ

第二式甲 就學調查簿

此調査簿ハ學務委員之ヲ製シ毎年末其學區内學齡兒童ニシテ翌年就
學スルヲ得ル者及就學スル能ハサル者ノ事故若クハ理由ヲ記載シ其
當否ノ意見ヲ付シテ郡長ノ認可ヲ經ヘシ

第二式乙 學齡兒童姓名簿

此姓名簿ハ學務委員之ヲ製シ就學調査簿中ニ就テ翌年普通教育ヲ受
クヘキ者ノ姓名ヲ記載シ其學區内ノ小學校長或ハ教員ニ回付スヘシ

第三式 學齡就學調查表

此調査表ハ學務委員之ヲ作り毎年ノ始必ス之ヲ郡長ニ出スヘシ

一 學齡人員ハ學齡簿ニ就キ十二月末ノ現員ヲ計算ノ之ヲ記入スヘシ

一 就學ハ在公學、在私學、就巡回授業、在家庭ノ類別ヲ記入シテ此四

項ヲ通算シ其次ノ欄内ニハ其年就學スルコト十六週日ニ滿タサリ

シ者ノ計數ヲ記スヘシ

- 一 不就學中未修學欄内ニハ學齡兒童ニシテ疾病等ノ事故アリテ未タ一日モ修學セサル者及謂レナク修學セサル者トナ分記スヘシ
- 一 同未卒初等小學科欄内ニハ一旦入學スト雖モ未タ初等小學科ヲ卒ヘスシテ其年就學セサル者ヲ掲クヘシ但疾病等ノ事故アリテ就學セサル者ト及謂レナク就學セサル者トナ分記スヘシ
- 一 同既卒初等學科欄内ニハ既ニ初等小學科ヲ卒ヘテ他ノ學科ヲ修ムル者、其他疾病等ノ事故又ハ職業ニ就ク等ノ理由アリテ就學セサル者及謂レナク就學セサル者トナ分記スヘシ
- 一 編入及除名ハ本年中學齡兒童ノ出入ヲ計查シ各欄内ニ分記スヘシ
- 一 最後就學不就學欄内ノ職業類別ハ學齡兒童ノ父母或ハ後見人ノ職

業ニ係ル

一 人口ハ學區内十二月末ノ現員ヲ記入スヘシ

第四式 町村立及私立小學校表

此小學校表ハ學務委員之ヲ製シ其學區内各小學校ヨリ出ス所ノ諸表中記載ノ件名及計數ヲ記入シ且卒業生徒ハ適宜ノ符號ヲ付シ初等、中等、高等科ヲ區別シ毎年ノ始之ヲ郡長ニ出スヘシ

第五式 町村立諸學校（小學校ニアラザルモノ）表

此諸學校表ハ學務委員之ヲ製シ其學區内町村立諸學校ヨリ出ス所ノ諸表中記載ノ件名及計數ヲ記入シ毎年ノ始之ヲ郡長ニ出スヘシ

第六式 私立諸學校（小學校ニアラザルモノ）表

此諸學校表ハ學務委員其學區内私立諸學校ニ係ル件名及計數ヲ查記

シ毎年ノ始之ヲ郡長ニ出スヘシ

第七式 公學費出納月計簿

第八式 公學校所有品月計簿

第九式 公學費出納所有品及學費寄附表

右三種ノ月計簿ハ學務委員之ヲ製シ其學區内各町村立學校ニ係ル一切ノ資財ヲ計査シ之ヲ各欄内ニ分記スヘシ但學費寄附月計簿中寄附人員ノ條下ニハ其寄附人員ヲ記スヘシ

第十式 公學費出納所有品及學費寄附表

此表ハ學務委員之ヲ製シ其學區内各町村立學校ニ係ル諸月計簿中記載ノ計數并學務委員給料寄附人員等ヲ記入シ毎年ノ始之ヲ郡長ニ出スヘシ但小學校ト諸學校トハ其表ヲ異ニスヘシ

丙號郡長ノ部

第一式 郡學齡就學調查表

此調査表ハ郡長之ヲ製シ學務委員ヨリ出ス所ノ學齡就學調查表中記載ノ計數ヲ合記シ毎年一月中必ス之ヲ縣廳ニ出スヘシ

第二式 郡町村立及私立小學校一覽表

此一覽表ハ郡長之ヲ製シ學務委員ヨリ出ス所ノ町村立及私立小學校表中記載ノ件名及計數ヲ合記シ毎年一月中必ス之ヲ縣廳ニ出スヘシ

第三式 郡町村立諸學校（小學校ニアラザルモノ）一覽表

此一覽表ハ郡長之ヲ製シ學務委員ヨリ出ス所ノ町村立諸學校表中記載ノ件名及計數ヲ合記シ毎年一月中必ス之ヲ縣廳ニ出スヘシ

第四式 郡私立諸學校（小學校ニアラサルモノ）一覽表

此一覽表ハ郡長之ヲ製シ學務委員ヨリ出ス所ノ私立諸學校表中記載

ノ件名及計數ヲ記入シ毎年一月中必ス之ヲ縣廳ニ出スヘシ

第五式 郡町村立學校學費一覽表(納ノ部)

此一覽表ハ郡長之ヲ製シ學務委員ヨリ出ス所ノ町村立學校學費出納
所有品及學資寄附表(乙號第九式)中公學金納ノ部欄内ノ計數ヲ記入
シ毎年一月中必ス之ヲ縣廳ニ出スヘシ

第六式 郡町村立學校學費一覽表(出ノ部)

此一覽表ハ郡長之ヲ製シ學務委員ヨリ出ス所ノ町村立學校學費出納
所有品及學資寄附表(乙號第九式)中公學金出ノ部欄内ノ計數ヲ記
入シ毎年一月中必ス之ヲ縣廳ニ出スヘシ

第七式 郡町村立學校所有品一覽表

此一覽表ハ郡長之ヲ製シ學務委員ヨリ出ス所ノ町村立學校學費出納

所有品及學資寄附表(乙號第九式)中所有品欄内ノ計數ヲ記入シ毎年
一月中必ス之ヲ縣廳ニ出スヘシ

第八式 郡町村立學校學資寄附一覽表

此一覽表ハ郡長之ヲ製シ學務委員ヨリ出ス所ノ町村立學校學費出納
所有品及學資寄附表(乙號第九式)中學資寄附欄内ノ計數ヲ記入シ
毎年一月中必ス之ヲ縣廳ニ出スヘシ

第九式 公學費出納所有品及學資寄附統計表

此統計表ハ郡長之ヲ製シ學務委員ヨリ出ス所ノ町村立學校及諸學校
公學費出納所有品及學資寄附表(乙號第九式)中記載ノ件名及計數
ヲ記入シ毎年一月中必ス之ヲ縣廳ニ出スヘシ但小學校ト諸學校トハ
以上第五式ヨリ第九式ニ至ル諸表ヲ異ニスヘシ

右ノ外學務委員ハ公學費出納月計簿ノ根據トナルヘキ帳簿ヲ作リ受
入拂出ヲ詳記シ教員ハ生徒卒業狀授與簿ヲ作り姓名番號等ヲ記錄ス
ヘシ尤學事ニ係ル上申下達等ノ書類ハ夫々分類編纂シテ散逸ナキヲ
要ス

○丙第壹號 一月七日各郡

本縣勸業月報ノ儀爾后勸業報告ト改メ一ケ年六回即チ二ケ月分印行
發兌可致尤モ毎月通信ハ是迄ノ通可相心得該規則中月報ノ二字ハ通
常報告ト相改候條此段相違候事

●丙第貳號 一月十一日各郡

今般報告第三號ヲ以テ陸軍教導團生徒召募之義報告及ヒ候所右ハ往
々志願者ヲシテ徵兵ト同一視シ其望ヲ空フセシ者モ有之哉ニ相聞候
條可成其役所ニ於テモ志願者ヲ誘導シ召募ニ應セシメ本月三十日限
リ願書取纏メ當廳ヘ差出スヘシ此段相違候事（但檢査時日並集合場
所之儀ハ逐テ可相達且ツ志願人有無共本文日限迄ニ可届出事

○丙第三號 一月十四日各郡

福島縣外一縣郡長へ委任條件追加更正埼玉縣郡役所位置變換共別紙之通ニ候條總テ明治十二年(二月)乙第五十五號達之通可相心得此段相達候事 (別紙略之)

●丙第四號 一月十五日各郡

收稅委員松山出張所在勤大藏十等屬元木敬儀歸京大藏十等屬河野通故在勤相成候條爲心得此段相達候事

○丙第五號 一月十八日各郡

官有倒木取拂方及取拂費用ノ義ニ付明治十二年(十一月)本縣乙第三百六十二號ヲ以テ相達置候趣モ有之候處其道路若シクハ耕宅地中へ横倒候分取拂方ノ義ハ出張官ニ於テ左ノ通心得可成費用減省候様注意可致此段相達候事

一道路ニ横倒スル官木ヲ取方附ルニハ目下行客等ノ支障アル分ニ限リ其儘路傍へ取ヨセ置クヘシ

一耕宅地ニ倒ルモノト雖モ忽テ難捨置程ノ場合ニ無之且地主ニ於テモ之レヲ承諾スル分ハ其儘公賣スヘシ

一耕宅地ニ横倒忽テ難捨置分ニシテ其儘運搬シ得ヘキモノハ別ニ伐仕成ニ及ハス其儘近傍空地等へ取寄セ置クヘシ

但道路耕宅地共其儘取除ケ難相成モノハ僅カニ取除ケ得ヘキ丈ニ截斷スヘシ

○丙第六號 一月廿七日各郡

郡長委任條件別紙之通更正候條此段相達候事

郡長委任條件

第一條 定規アル經費ヲ支出スル事

第二條 郡役所不用ノ物品ヲ賣却スル事

第三條 郡役所及ヒ郡用ノ倉庫并揭示場ヲ修繕スル事

但金額拾圓以上ニ係ルモノハ此限ニアラス

第四條 貧民水火風震ノ災ニ罹リ家屋蕩盡スルモノ一時救助ヲ執行スル事

第五條 非常出兵及ヒ成兵交番等ノ節人馬繼立等ノ事

第六條 士族亡跡相續延期願及ヒ士民共有子ノ寡婦へ入夫又ハ家名相續願ヲ聽許スル事 (十四年内第五十三號ヲ以テ。點ノ通改正)

第七條 嫡子嫡孫廢篤疾及ヒ失踪等ニテ次三男及ヒ養子或ハ女子兄弟姊妹へ家名相續又ハ次三男養子兄弟ヲシテ嗣子相續人ト爲ス願

ヲ聽許スル事

第八條 夫又ハ妻失踪逃亡ニ由リ離婚願并ニ失踪逃亡跡家名相續願ヲ聽許スル事

第九條 實子ナクシテ伯叔父兄弟ヲ置キ伯叔母及姉妹へ家名相續又ハ相續人ト爲ス願ヲ聽許スル事

第十條 實子女ヲ置キ養父ノ實子女へ家名ヲ讓リ又ハ相續人ト爲ス願ヲ聽許スル事

第十一條 養子養家ノ妻子ヲ召連離縁以歸スル願ヲ聽許スル事

第十二條 父母及ヒ尊族者分籍離別他へ縁組願ヲ聽許スル事

第十三條 家名ヲ廢シ他家相續又ハ他家ノ養子相續人或ハ實家へ復歸願ヲ聽許スル事

第十四條 改名願及ヒ土族民籍編入願ヲ聽許スル事

第十五條 脫籍者入籍及ヒ籍面誤謬改正願ヲ聽許スル事

第十六條 棄兒宿ヒ揚屋及ヒ養子養育替ヲ聽許シ養育米ヲ支給スル事

第十七條 戸長役場移轉伺ヲ聽許スル事

第十八條 郡書記戸長醫務取締等ノ除服ヲ達及ヒ歸省療養等ノ爲旅
行願ヲ聽許スル事

第十九條 醫務調査掛勸業世話掛ヲ任免スル事

第二十條 學校病院土木恤窮等ノ費用トシテ金穀物品ノ寄附願及伺
ヲ聽許スル事

但金額四千圓以上及ヒ勅委任官華族ニ係ル分ハ此限ニアラス

第二十一條 修路ノ爲メ人馬車駕等通行止願ヲ聽許シ及ヒ其建札ヲ

ナス事

第二十二條 官有地へ揭示場建設願ヲ聽許スル事

第二十三條 官有地建物賣買讓與書入質入ノ節奥書スル事

第二十四條 難破船及ヒ漂流物處分ノ事

第二十五條 眩燈販賣願ヲ聽許スル事

第二十六條 社寺建替願ヲ聽許スル事

第二十七條 說教所及ヒ教會所建設地位ヲ聽許スル事

(十四年丙卅六號ヲ以テ。點之通改正)

第二十八條 神社華表建設願及說教其他公告ノ爲メ建札願ヲ聽許ス
ル事

第二十九條 社寺境内へ堂社建築及建添願ヲ聽置ク事
第三十條 縣社以下臨時祭及ヒ神輿渡御並ニ佛閣開帳願ヲ聽許スル事

第三十一條 社寺什物取締ノ事

第三十二條 氏神變換及ヒ轉宗改式轉寺届ヲ聽置ク事

第三十三條 教導職進退届ヲ聽置ク事

第三十四條 縣社以下祠官掌及ヒ住職進退願ヲ聽許スル事

第三十五條 縣社以下祠官掌任免ノ節社務受渡届ヲ聽置ク事

第三十六條 社寺境内ノ枯木倒木危難ノ木ヲ伐採スル事

但官國幣社ニ係ルモノハ此限ニアラヌ

第三十七條 新調ノ舟車檢印願及ヒ破解届處分ノ事

第三十八條 日。本。形。船。新。調。及。ヒ。賣。買。願。等。處。分。ノ。事

(十四年丙第五拾六號ヲ以テ。點ノ通増補)

第三十九條 証券印紙貼用ノ諸帳簿檢査ノ事

第四十條 新調ノ度量衡檢査ノ事

第四十一條 例規アル諸營業興廢願ヲ聽許スル事

第四十二條 諸賑興行願及市場願ヲ聽許スル事

第四十三條 芝居其他ノ定小屋建設願ヲ聽許スル事

第四十四條 水車營業興廢願ヲ聽許スル事(但地處變換ニ係ルモノ

ハ成規ニ依リ變換地ノ儀届出サスベシ)

第四十五條 採藻願ヲ聽許スル事

第四十六條 釀造酒ヲ除ク外酒類石高檢査ノ事

第四十七條 検査済ノ醸造酒非常ノ災害或ハ腐敗等ノ節検査ノ事
第四十八條 醫趨營業取締ノ事

第四十九條 酒器械封閉ノ事

第五十條 酒造桶検査及賣買貸借等處分ノ事

第五十一條 酒槽新調及ヒ賣買貸借破解届等處分ノ事

第五十二條 河港道路堤防橋梁等破損箇所修築請負入札廣告并ニ修繕落成検査ノ事

但修繕落成検査官民費合金三百圓以上ハ此限ニアラス

第五十三條 官費及地方税ヲ以修築スヘキ海岸堤防水門等破壊シ暫時モ差置難キ場合修繕ニ着手スル事

但着手ノ場合ニ於テハ電報又ハ急飛ヲ以テ縣廳へ報告スヘシ

第五十四條 國縣道ニ架スル橋梁流失或ハ臨時落斷シテ人馬徒涉ナ

ラサル場所ノ假橋費金貳拾五圓以内ヲ以テ架設ノ事

第五十五條 私費ヲ以テ河川へ假橋架設願ヲ聽許スル事

但架設ノ爲メ地形ヲ變換スルモノハ此限ニアラス

第五十六條 民有地ニ築造スル溜池並池敷取擴ケ願ニ付實地ヲ検査スル事

第五十七條 段別五反歩以下ノ海面埋立ヲ検査スル事

第五十八條 官有地ニ生育スル動植物一季限入札拂ノ事

第五十九條 官有地危難ノ樹木及ヒ宅地ニ障碍アル官木ヲ伐採スル事

第六十條 電信柱敷地手當金見積ノ事

第六十一條 官林下艸刈取落葉搔取免許ノ者へ鑑札渡しノ事

第六十二條 道路並木植繼及ヒ盜伐木公賣ノ事

第六十三條 學校教員ノ會議ヲ舉行スル事

第六十四條 産婆針治採治齒拔願ヲ聽許シ齒拔ヲ除クノ外免狀ヲ付與スル事

第六十五條 虎列刺病發疹室扶斯病流行ノ節祭禮劇場等都テ人民ノ群集スル事業ヲ差止ル事

第六十六條 人蓄傳染豫防ノ法ヲ設ケ施行スル事

第六十七條 賣藥請賣及ヒ行商願ヲ聽許スル事

第六十八條 醫業藥舖内務省免狀ヲ除ク及種痘賣藥營業者轉居改名等ノ節免狀鑑札書替願ヲ聽許スル事

第六十九條 雜收入金ヲ徵收及ヒ上納スル事

第七十條 諸貸下金取立ノ事

第七十一條 官有地所建物拜借料及地所竹木建物等拂下代金未納者處分ノ事

第七十二條 備荒儲蓄金未納者處分ノ事

第七十三條 地租貸與金取立ノ事

第七十四條 社寺境内ノ樹木伐採願ヲ實查スル事

(十四年丙第五拾貳號ヲ以テ七十四條追加)

第七十五條 區町村會若クハ水利土功ノ集會ニ於テ評決シタル土木費ノ怠納者處分ノ事

第七十六條 衛生ニ關スル犯則者告發ノ事

（十四年丙第六十三號ヲ以テ七十五條七十六條追加）

○丙第七號 一月廿七日 各郡

今般丙第六號ヲ以テ郡長委任條件更正候處取扱手續ハ從前之條項ニ準據シ可取扱尙右手續ハ自今公達例規等ノ改正ニ際シ別段更正不相達候條其公達例規ニ據リ處分可致此段相達候事

○丙第八號 一月廿七日 各郡

郡長委任條件自今修正追加候節公達例規等ニ據テ取扱明瞭ナルモノハ別段手續ヲ垂示セサル儀ト可相心得此段相達候事

○丙第九號 一月十九日 各郡

今般甲第十五號ヲ以及布達候處是迄人民ヨリ差出ス圖書出版願届等往々書式ニ抵觸ノ廉等有之夫カ爲メ往復時日ヲ費シ人民ニ於テモ出

版ノ機ヲ失シ不都合之儀ニ付自今右願届書差出候節ハ可成書式等成規ニ照シ添書之上可差出板權免許料之儀ハ納本_{年月}日 届出同時迄ニ必ス徴收シ置成規之通上納可致此段相達候事

○丙第十號 一月十八日 各郡

勸業資本金ヲ貸下タル專業ハ總テ其景況實地檢査ヲ遂ケ利弊得失ヲ詳悉シ毎年六月十二月ニ具狀シ且臨時主務ノ官吏ヲ派遣シ檢査爲致候義モ可有之旨其筋ヨリ達相成候條爲心得此段相達候事（但動物及農具或ハ器械等貸下有之分モ本文ニ倣ヒ候義ト可相心得事

●丙第十一號 一月廿一日 各郡

客年（十二月）甲第九十號布達酒造ニ屬スル倉庫納屋等圖面及諸器械調書ハ其役所ヨリ直ニ該區出張酒造檢査主事エ可及送附此段相達

候事（但第五區分ニ限リ租稅課エ送附スヘシ

○丙第十二號 一月廿二日 各郡

稅外收入之義客年十二月大藏省乙第四十五號達ノ趣有之候ニ付十三年度所屬ノ分ヨリ總テ雜收入ト可稱此段相達候事

但書類既ニ送致ノ分ハ改メテ差出ニ不及候事

○丙第十三號 一月廿七日 各郡

人民身代限及ヒ資力限財產取扱ノ義是迄松山裁判所ヨリ直ニ所轄戸長へ相達來候處自今其郡役所へ可及照會旨該廳ヨリ申來候條明治十一年第三十二號公達ニ依リ可取扱此段相達候事

○丙第十四號 一月廿七日 各郡

秋田縣ニ於テ犯罪人所刑濟縱放ノ節其姓名等自今同縣監獄本署又ハ

支署ヨリ直ニ原籍郡役所へ宛通知候旨申越候條爲心得此段相達候事

●丙第十五號 一月廿九日 各郡

天台宗諸寺院住職及ヒ兼務進退ノ義是迄管長副書或ハ教導取締ノ奧印ヲ以テ出願候處自今總本山末ハ延曆寺外本寺末ハ該本寺ニ於テ奧書爲致取締等連署ノ上願出候旨這般本宗管長ヨリ届出候條爲心得此段相達候事

○丙第十六號 一月三十一日 各郡

明治十二年（二月）乙第六十二號達往復規程第四條但書刪除候條自今後右ニ係ル費用ハ郡役所經費ヲ以テ支辨可致此段相達候事

○丙第十七號 一月三十一日 各郡

郡役所建築修繕費勘定帳書式別冊之通相定候條十三年度以降右ニ照

準毎年(十二月六月)兩度ニ可差出此段相達候事

但修繕出來形精算帳ハ是迄ノ通每翌月五日限差出スヘシ

明治何年 自何月 至何月 郡役所建築修繕費勘定帳

何 郡

金何程豫算決定高

一金何程

元 請 高

此譯

金何程

何月何日縣廳ヨリ請取

金何程

(二期ノ例)

前期越高

一金何程

仕 拂 高

此譯

金何程

何月何日精算

但何々所建増或ハ修繕ノ分

金何程

何月何日精算

但何々

一金何程

元拂差引殘

後期へ越高(或ハ何月何日
縣廳納)

右ハ明治何年何月ヨリ何月マテ郡役所建築修繕費勘定仕上書面之通
相違無之候也

年月日

郡長姓名

縣令姓名宛

○丙第十八號 二月二日 各郡

客年大藏省乙第卅九號達酒造稅則取扱心得第六款同第四十號達齋廻
營業稅則取扱心得第二款ニ依リ郡役所差立期限別表ノ通相定候條此
段相達候事

表 名

期 限

酒造新規營業人名表	其期 十月五日限
造酒見込届種目石數表	同 十月卅日限
造石稅免除酒類製造見込届種目石數表	同 十一月五日限
齋廻販賣見込届石數表	同
造酒見込届石高増減第一次報告表	同 四月五日限
造酒檢査濟石高第一期報告表	同
造酒見込届石高増減第二次報告表	同 七月五日限
造酒檢査濟石高第二期報告表	同
造酒見込届石高増減第參次報告表	同

酒

造酒検査済石高第三期報告表	九月五日限
酒類製造免許鑑札受拂計算表	翌期 十月五日限
酒造返納鑑札人名表	
酒造返納鑑札人名表	同 十月十日限
造石税免除酒類製成種目石數表	
酒造税表	同 十月十五日限
酒造營業稅表	
酒造販賣石數表	同 十一月五日限
酒造販賣見込石數増減表	
酒造新規營業人名表	三ヶ月分 翌月五日限

○丙第十九號 二月二日 各郡

今般丙第六號ヲ以テ委任條件改正候處其第六十八條醫業藥舖及種痘賣藥營業者轉居改名等ニヨリ免狀鑑札書換願出候節ハ左ノ手續ニ依リ可取扱此段相違候事

- 一 轉居或ハ改名ノ節免狀或ハ鑑札書替願出ルルキハ表面住所番地或ハ名前朱書訂正裏面片隅ノ餘白へ年月日轉居或ハ改名ニ付書替下付スト朱書主任郡書捺印シテ下渡スヘシ
- 一 甲郡ヨリ乙郡へ轉居ノ節ハ乙郡役所ニ於テ前條ノ手續ヲナシ其旨甲郡へ通報スヘシ
- 一 聽許セシ上其鑑札或ハ免狀番號及移轉セシ住所姓名等ヲ詳記シ一ヶ月分取纏メ翌月五日限當廳へ届出スヘシ

○丙第二十號 二月九日 各郡

明治十二年(七月)乙第二百八號地券取扱順序第十四條第三十四條共
左ノ通改正刪除候條此段相違候事

第十四條改正

地目變換 田畠成畠田成田畠宅地成伐替畑山成其 届出ノ節ハ左ノ三
項ニ據リ取扱フヘシ
他畝下年季ヲ要セサル開墾地等ヲ云

第一項 地目變換届書ハ明治十一年甲第百廿號地所變換手續書ニ
依リ取調不都合無之候ハ、其儘受理シ每三ヶ月分取纏一月ヨリ三月迄ノ
分ハ四月十日四月ヨリ六月迄ノ 第十號雜形ニ準シ届出ヘシ
第二項 第一項ノ届書ヲ一ヶ年分取纏メ翌年一月ニ至リ明治十四
年甲第二十九號布達ニ依リ地價修正願出ノ節ハ一筆限照查ヲ遂

ケ該願書ハ奥書ノ上縣廳ヘ進達スヘシ

第三項 地價修正願許可ノ上明治十四年甲第二十九號布達ニ據リ

地券書換ヲ願出ルルキハ其修正許可濟ノ願書ニ依リ臺帳ヲ更正シ
券狀書換下與スヘシ

但地價修正許可濟ノ願書ハ之レヲ郡役所ヘ編輯シ置クヘシ

第三十四條中二行目其字ヨリ四行目出。字迄六十九字ヲ刪除ス

●丙第二十二號 二月七日 各郡

明治十三年本縣丙第七十六號達中第五號雜形反別人口調表中ニ官
有地雜種地ヲ算入セサル向ハ其町村名及ヒ反別等取調有無モ本月廿
五日限リ可申出此段相違候事

但本文ニ抵觸スル指令ハ取消候儀ト相心得フヘシ

●丙第二十二號 二月十日 各郡

國稅ニ係ル諸營業人員其外増減月々收稅委員へ報告ノ儀ニ付客年(七月)丙第百十六號及同年(十一月)丙第百八十二號ヲ以テ相違置候處今般其筋ヨリ照會ノ趣有之本年一月以後ニ係ル分ハ追テ何分ノ儀相違候迄報告不及候條此段相違候事

○丙第廿參號 二月十二日 各郡

郡書記中學務擔任ノ者ハ成ルヘク教育ノ大意ニ通スル者ヲ以テ之ニ充テ別紙要項ニ據リ事務取扱ハセ候様致スヘシ其筋ヨリ違ノ趣モ有之候條此段相違候事

但本文學務擔任專務兼務ノ區別ヲ記載スノモノ進退ノ節ハ其都度姓名開申可致且即今擔任之者ハ本月廿五日限り可届出事

學務擔任ノ者事務要項

學務擔任ノモノハ郡長ノ指揮ニ從ヒ其郡内一切ノ學務ニ從事スヘシ其要項左ノ如シ

第壹項 町村立學校及私立小學校教授ノ利害得失ヲ監督スル事

第貳項 町村立學校及私立小學校ノ圖書器械校簿入學、退學、出席、簿ノ適否及校舎ヲ監督スル事學業、行狀、等ノ

冊ノ適否及校舎ヲ監督スル事

第參項 學齡兒童ノ就學ヲ勸誘督責スル事

第四項 學務委員ノ能否勤怠ヲ監督スル事

第五項 町村立學校及私立小學校教員等ノ能否勤怠ヲ監督スル事

第六項 學校ニ入レス巡廻授業ニ依ラスシテ普通教育ヲ授クルモノ

ヲ許否スル

第七項 學校ニ入ラス巡回授業ニ依ラスシテ普通教育ヲ受ル學齡兒童ノ學力ヲ試験スル事

第八項 私立學校小學校ヲ除ク教員ノ利害ヲ監視スル事

第九項 町村立私立學校等ノ設置廢止分合移轉等ノ件ヲ調査スル事

第十項 町村立學校等ノ質產及經費等ノ件ヲ調査スル事

第十一項 町村立學校授業料ノ件ヲ調査スル事

第十二項 町村立私立小學校教則斟酌ノ件ヲ調査スル事

第十三項 町村立私立學校等ノ諸規則制定改正ノ件ヲ調査スル事

第十四項 町村立學校及私立小學校ノ建築修繕等ノ件ヲ調査スル事

第十五項 巡回授業ノ方法施設ノ件ヲ調査スル事

第十六項 町村立小學校ニ代用スル私立小學校ノ件ヲ調査スル事

第十七項 學務委員薦舉等ノ件ヲ調査スル事

第十八項 町村立學校教員等ノ進退黜陟及給料等ノ件ヲ調査スル事

第十九項 町村立學校教員等慰勞ノ件ヲ調査スル事

第二十項 町村立私立小學校教員學力檢定ノ件ヲ調査スル事

第二十一項 學校教員品行檢定等ノ件ヲ調査スル事

第二十二項 町村立私立學校生徒ノ試験ニ監臨スル事

第二十三項 町村立私立學校生徒獎勵ノ件ヲ調査スル事

第二十四項 學事ニ關スル寄附金等ノ件ヲ調査スル事

第二十五項 學校教員生徒及學務委員等褒賞懲罰ノ件ヲ調査スル事

第二十六項 學事ニ關スル篤志盡力ノモノヲ調査スル事

第二十七項 學事ニ關スル集會ノ件ヲ調査スル事

第廿八項 貧困兒童等就學ノ方法施設ノ件ヲ調査スル事

第廿九項 町村立學校ノ敷地免稅等ノ件ヲ調査スル事

第三十項 町村立私立幼稚園書籍館等ノ件ヲ調査スル事

第卅一項 學事ニ關スル町村會評決ノ件ヲ調査スル事

第卅貳項 學事年報等ヲ調製スル事

第卅三項 學事ニ關スル諸公文ヲ調査スル事

○丙第貳拾四號 二月十二日 各郡

大坂府郡區役所並郡區畫變換及茨城縣外一縣郡長へ委任條件增加更正別紙之通ニ候條明治十二年(二月)乙第五拾五號達ノ通可相心得此段相達候事 (別紙略之)

○丙第二十五號 二月十九日 各郡

大坂府外二縣郡區長へ特ニ委任條件改正追加別紙之通ニ候條總テ明治十二年(二月)乙第五十五號達ノ通可相心得此段相達候事

(別紙略之)

○丙第二十六號 二月廿一日 各郡

福岡縣郡區畫改正及郡役所位置變換別紙之通ニ候條總テ明治十二年(二月)乙第五十五號達之通可相心得此段相達候事 (別紙畧之)

○丙第貳拾七號 二月廿二日 各郡 警察署

客年(十一月)乙第百廿七號ヲ以傳染病届書取扱手續相達置候處當初郡役所ニ於テ醫師ヨリ届書ヲ受クレハ直ニ當廳へ差出シ且其旨最寄警察署若クハ分署へ通報可致此段相達候事

但警察署又ハ分署ニ於テ該届書ヲ受クルモ本文同様手續ヲナシ其

旨郡役所へ通知スヘシ

○丙第廿八號 三月二日各郡

明治十一年(十二月)乙第百卅八號達旅費定則中客年(一月)丙第十三號ヲ以改正候處今般左之通更正並追加候條此段相達候事

旅費定則

第二章第二項改正

第貳項赴任旅行ハ新任轉任及他方在勤ノ節該役所へ三里以上ヨリ

三里未滿ハ之ヲ給ス
一切給セス

但新任轉任ノ者旅費ハ悉皆其採用ノ役所ヨリ給スヘシ

第十五章追加 {從前ノ十五章ヲ
十六章トス}

一華族及有位前帶勳ノ士民郡町村ノ公用ニテ旅行ノ節ハ旅費ノ一等

ヲ以テ給シ無位ノ士民生徒モ全シ僧侶等同斷ノ節ハ旅費ノ三等ヲ以テ

支給スヘシ(但在官者ハ位勳ニ拘ハラヌ總テ官等ニ據リ支給ス

旅費定則附例

第一號改正

第二章第二項

一他方出張中轉任スルモノ甲ノ郡村吏乙處へ出張中乙類ハ拜命前後ヲ

區分シ拜命前日迄ハ舊官相當ノ旅費日當ヲ甲應ヨリ給シ轉任若クハ新任ノ

爲特ニ呼出ス旅費ハ該地ヨリ任地迄當官相當ノ並旅行旅費ヲ帶陪

新任ノ應ヨリ給スハ其滯留日當トモ新任ノ應ヨリ給シ更ニ前在職地ヨリ任地迄直路里程ニ應

シ郡外並旅行額ト赴任トノ差違ノ金額ヲ手當トシテ新任ノ應ヨリ

給ス尤新任者ハ定則第十五章ノ制限ニ據ルヘシ

但轉任ノ際直ニ赴任セス事務引繼ノ爲一旦甲郡へ出張スルモノ
並旅行旅費並該地滯留日當ハ當官相當ヲ以甲廳ヨリ支給シ而シ
テ其地ヨリ任地マテノ赴任旅費ヲ新任ノ廳ヨリ給ス

一甲ノ郡村吏ヲ乙郡村へ借用スル往返旅費ハ乙ノ郡村ヨリ支給ス

○丙第貳拾九號 三月二日 各郡

本年丙第拾三號ヲ以テ人民身代限及ヒ資力限財産取扱之義相達置候
處右取扱手續今般左之通相定メ候條此段相達候事

但本文ニ抵觸スル從前之達指令等ハ總テ廢止ト心得ヘシ

一身代限及ヒ資力限財産取扱之節裁判所ヨリ通報有之キハ郡役所ニ
於テ其旨戸長へ相達財産公賣之取扱ヲ爲サシメ代金取立ノ後入札
之手續ヲ詳記シタル書面へ代金及ヒ入札相添郡役所ヨリ其通報シ

タル裁判所民事課へ適宜送付スヘシ

一揭示方之義裁判所ヨリ通報相成キハ前項ノ手續ヲ以テ戸長へ相達

戸長ヨリ受書爲差出其通報シタル裁判所民事課へ送付スヘシ

但受書式之義ハ明治九年坤第四十六號達之通

一財産取調之義ハ前項ニ依リ戸長取調書へ郡長添書シテ通報シタル
裁判所民事課へ送付スヘシ

○丙第三十號 三月四日 各郡

針治揉治産婆營業免狀受拂計算表別紙雛形之通取調毎年一月七月廿
日限リ可届出此段相達候事

但本文取調之義ハ本年一月ヨリ實施ノ義ト可心得事

明治何年 自何月何々免狀受拂計算表
至何月

差引殘	拂			受		件名	枚數	人員
	計	書損	書換渡	新規渡	計			

外	死亡或ハ廢業 ニ付返納	書換再渡ニ付 返納

○丙第三拾一號 三月八日 各郡

福島縣郡長へ委任條件追加并删除別紙之通ニ候條總テ明治十二年(二月)乙第五十五號達ノ通可相心得此段相達候事 (別紙略之)

○丙第三十二號 三月十一日 各郡

酒造營業免許ヲ受ケタル后酒種目增加之義届出候中ハ聞届不苦候條客年(十一月)大藏省乙第三十九號達酒造稅則取扱心得書第七號雜形見込酒種目石數表進達以後届出ノ分ハ第八號雜形增石ノ部分ニ組入報告可致此段相達候事

○丙第三十三號 三月十二日 各郡

本年甲第四十五號ヲ以石風呂營業出願手續及布達置候處新規營業願出候者有之節ハ許可ノ後必ス實地ヲ臨檢シ萬一築造方願面ト相違ノ廉有之候ハ、速ニ改良致サセ其旨可届出此段相違候事

但從來ノ營業ニ係ル分ハ出願ノ際實地ヲ檢査シ築造方ノ良否見込書相添可差出事

○丙第三十四號 三月十二日 各郡

官林内損木有之實地檢査極印ノ節其官林受持監守人爲立會候ハテハ監守上差間ノ儀モ不尠候條自今其都度派出吏員ヨリ右監守人へ通知ノ上爲立會生育ノ見込無之者ニ限リ極印候様可取計此段相違候事

○丙第三拾五號 三月十五日 各郡

明治十一年(十二月)乙第四百四十六號達國稅地方稅收納順序第八號雜

形別冊之通更正候條此段相違候事

明治何年十月ヨリ

同 何年九月マテ

酒造稅收入簿

〔一類二類三類ノ順次
類寄ニスルマ〕

(朱書)

一場所ニテ他類ノ酒造ヲ兼ルモノハ
其本業ノ部ヘ免許税ヲ記入シ兼業ノ
部免許税ノ欄内ヘハ「第何類兼」ト朱
書スベシ

(本文。印朱。)

鑑札下附月日	鑑札番號	何郡何村町何番地 何某 代理人ナレハ代理人ノ姓名ヲモ記入スヘシ
規何月何日	第何號	
換渡		
石數	稅金	計
稅	三拾圓	額收月日
酒何拾何石何斗何升何合	何拾何圓何拾何錢何厘	何百何拾何石何斗何升何合
		何百何拾何石何拾何錢何厘
		何百何拾何石何斗何升何合
		何百何拾何石何拾何錢何厘

面二同

○丙第三拾六號 三月十五日 各郡
十四年丙第六號達郡長委任條件第廿七條改正 (原達訂正)

●丙第三拾七號 三月十九日 各郡
不日實地演習施行ニ就テハ右演習相濟候迄將校以下歸省休暇差留候
旨廣島鎮臺ヨリ通知有之候條爲心得此段相達候事

○丙第三拾八號 三月廿三日 各郡
千葉縣郡長へ特ニ委任ノ條件別紙之通改正相成候條總テ明治十二年
(二月)乙第五十五號達ノ通可相心得此段相達候事 (別紙略之)

○丙第三十九號 三月廿二日 各郡
客年(九月)丙第百四十九號ヲ以地券送付ノ後未タ所有者ニ下與_セル
ル内賣買讓與ニ依郡役所於テ書換ノ節証印稅算出書取扱方相達置候

處今般其筋指令ノ趣モ有之該達ハ取消候條自今右等ノ向ハ前後雙方
(則送付券狀ノ名前主ト)ヨリ成規ノ通証印稅徵收可致此段相達候事
郡役所書換ノ名前主ト)ヨリ成規ノ通証印稅徵收可致此段相達候事
○丙第四十號 三月廿四日 周布桑村野間風早下浮穴 各郡
伊豫兩宇和郡ヲ除ク
度量衡三器賣捌人ニ於テ他府縣下ノ製器ヲ賣捌候モノハ其通價届出
ノ節該製作所ヨリ送致スル處ノ原價表寫相添指出候様可取計此段相
達候事

○丙第四十一號 三月廿八日 上浮穴郡ヲ除ク 各郡

客年(十月)丙第一百十四號ヲ以漁場漁業採藻及營業雜種之諸營業者事
故有之次季ニ至リ聽許セシ分ハ其季ノ精算仕譯帳へ組込計算可致旨
相達置候處年度ヲ異ニスル分即十三年度ニ於テ十二
年度ニ溯リ徵稅セシ類ハ不及其義候條
追徵金仕譯書ノミ差出該金送納方ハ年度后追納ニ準シ前年度未納勸

定除之追納金ト區分相立候様上納證書但書ニ記載シ可差出此段更ニ
相達候事(但明治十三年度ヨリ本文ニ準シ取扱候義ト相心得己ニ送
納濟之金員中右ニ抵觸候向ハ訂正方至急可申出事

○丙第四拾貳號 三月廿八日 各郡

本年三月第貳拾九號ヲ以醫術開業受驗人心得及報告候ニ付而ハ其筋
へ問題請求ノ都合モ有之候ニ付該報告第一條ニ依リ志願者ヨリ願書
差出候得ハ速ニ當廳へ可差出此段豫テ相達候事

○丙第四拾三號 三月廿八日 各郡

步兵第十二聯隊九龜營所長陸軍步兵大佐山地位元治被任陸軍少將候就テハ
陸軍步兵中佐山根信成同聯隊長トシテ赴任候旨其筋ヨリ通知有之候
條爲心得此段相達候事

○丙第四拾四號 三月廿八日 各郡

郡役所建副修繕等工事會計年度ヲ跨ルモノハ中仕切ヲ以別紙書式ニ準シ精算仕上ケ可執計尤其年度ニ屬スル費用ハ既定額ヲ以支賄ヒ増費ヲ不要様注意可致ハ勿論ノ義ニ付若シ遣拂殘額僅少等ノ場合ニ莅ミ尙難捨置營繕ニシテ自然工事ノ翌年度ニ跨リ從テ兩年度ノ費用ヲ要セサルハ竣功難致見込ノ分ハ金額詳細内譯ヲ以時々可伺出此段相達候事

別紙

何々修繕出來形中仕切精算内譯帳

〔原文朱字〕

〔目論見高金何程〕

一金何程

仕上高

外

〔金何程〕

〔何年度仕拂フヘキ分
或ハ前年度仕上濟〕

此譯

何々遣

何挺

松或ハ杉長何間 何寸角或ハ
末口何寸丸木

此代金何程

但壹挺ニ付金何程

同上

何本

正何寸釘

此代金何程

但何本ニ付金何程

同上

何本

何寸回リ竹

此代金何程

但何本ニ付金何程

何人

大工

此賃金何程

但賃人ニ付金何程

〔余ハ右書式ニ準シ詳細記載スヘキ〕

右之通相違無之候也

年號月日

何郡長姓名印

○丙第四拾五號 四月十一日 各郡

客年大藏省乙第三十九號達第五號雖形第二類第三類酒檢査簿ハ清酒
檢査簿ニ準シ調製可致答ニ候處各郡區々相成候テハ不都合ニ付更ニ
別紙之通蒸溜酒檢査簿制定候條第三類酒ト雖モ蒸溜酒ヨリ再製スル
者ハ該帳ニ準據シ檢査簿調製可致此段相違候事

檢査簿甲乙ト押切ルヘン

管廳押切印

明治何年度蒸溜酒檢査簿

何國何郡何町番地

何 某

蒸溜法方ノ部甲乙丙丁之符合ハ其法方異ナルモノヲ記入スヘシ

検査ノ部甲乙丙丁ハ蒸溜法方ノ符合ヲ記入スルモノトス

蒸溜度数ノ部ハ數回ニ分テ蒸溜シタル燒酎ヲ合計シテ検査シタル

中其數ヲ記入ス

一 ①印箇所へハ検査官捺印シ ②印へハ營業人調印セシムヘシ

營業免許鑑札番號

營業人 居所

營業

本宅	酒造	酒造	別	宅	酒造	酒
	倉庫	納屋			酒造	倉庫
棟數	何	何	地	地	地	地
棟	何	何	名	名	名	名
棟	何	何	番	番	番	番
棟	何	何	地	地	地	地
棟	何	何	棟	棟	棟	棟
何	何	何	縣	府	府	府
何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何

樽、罎、甕、瓶、罐、樽、罎、甕、瓶、罐、樽、罎、甕、瓶、罐

總數、全上、内缺、全上、外借、酒糟、層、木、掛、垂、器、礎、甕、桶、暖氣、蒸釜、桶、半

何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何

製酒類目、酒類、酒類、酒類

何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何

年度見込届

種目	燒酎	元	料	居
最初見込届高	何	何	何	何
増	何	何	何	何
減	何	何	何	何
増	何	何	何	何
差引計	何	何	何	何
差引計	何	何	何	何
差引計	何	何	何	何
差引計	何	何	何	何
差引計	何	何	何	何

蒸餾法方

符、元、料、石

酒、粕、或、何、貫、目、或、何、石

符	何	何	何	何
甲	何	何	何	何
乙	何	何	何	何
丙	何	何	何	何
丁	何	何	何	何
合計	何	何	何	何

(本文。印朱書)

札番號 營業人 居所 營業人 姓名

號 何國何郡何村何番地 何 某 ㊦

麴室別 宅 酒造ニ屬セサル倉庫 酒造ニ屬セサル納屋

數 地名番地棟數 地名番地棟數 地名番地棟數

何 何府何國何郡何町何番地何棟 何府何國何郡何町何番地何棟 何府何國何郡何町何番地何棟

棟 棟 棟 棟

數 酒造用諸器械

號 全上ノ外借 酒槽 屠杵 男柱 木締 掛 垂 蒸溜 礎 甑 暖氣 蒸釜 半切 桶 試 挑桶 擔桶 柄杓 麴板

何何何何 何何何何 何何何何 何何何何

個個本本個個組組個個個個個個個個個個

類目 殘酒 檢査

石 數 檢査年月日 賣主居所姓名

古酒 何石 明治何年何月何日

買入酒 何石 明治何年何月何日 何府何國何郡何町何番地何某

度 見込 屆

石 耐 元 種 類 量 屆 出 年 月 日

何酒 何石 何貫目或ハ何石 明治何年何月何日

石 何貫目或ハ何石 明治何年何月何日

石 何貫目或ハ何石 明治何年何月何日

石 何貫目或ハ何石 明治何年何月何日

餽 法 方

類 量 目 料 燒 耐 石 高 分 蒸 台 餽

或ハ 何貫目或ハ何石 何石 何割何分

何貫目或ハ何石

何貫目或ハ何石

何貫目或ハ何石

何貫目或ハ何石

何貫目或ハ何石

何貫目或ハ何石

元 料 檢 査		法 方	種 類	量	目	檢 査 年 月 日		燒 酎 檢 査	
		符 號				甲 [○]	乙 [○]		
合 計			酒 [○] 粕 [○] 或 [○] 石 [○]						
			何 [○] 貫 [○] 目 [○] 或 [○] 何 [○] 石 [○]						
合 計									

(印原文朱書)

○丙第四十六號 四月一日各郡

今般左之雛形印章短冊各官吏へ下渡出張巡回之節必携帶爲致候條爲心得此段相達候事

用紙鳥ノ子

第何號

割印

縣印

愛媛縣
何等屬警部
等外出仕雇

姓名

愛媛縣

豎八寸

○丙第四十七號 四月一日各郡

京都府岐阜縣郡役所位置變換及鹿兒嶋縣郡長委任條件改正別紙之通
ニ候條總テ明治十二年(二月)乙第五十五號達ノ通可相心得此段相達
候事 (別紙略之)

○丙第四十八號 四月一日 各郡

今般內務省乙第十四號達船名噸數馬力等六月三十日現在數取調之儀
郡役所ニ於テハ每年七月三十一日限可届出此段相達候事

○丙第四十九號 四月二日 各郡

製鹽量器ノ儀ハ地方ノ慣行ニヨリ適宜ノ器ヲ相用不苦冒曾テ及指令
置候向モ有之候處今般其筋ヨリ指令之趣モ有之右賣買ニハ公則ノ斗
量ヲ可相用答ニ有之候條部內營業人共心得違無之様告示可致此段相
達候事 (但本文ニ抵觸スル從前ノ達指令等ハ取消候事)

●丙第五十號 四月五日 各郡

收稅委員松山出張所在勤大藏七等屬島田章歸京大藏七等屬上田惟治
在勤相成領收証書記名押印致候條納稅証書其他書類同人名宛ニテ可
差出別紙印鑑壹葉相添此段相達候事

●丙第五十一號 四月五日 各郡

常置委員撰舉及ヒ該會ニ屬スル經費ノ議決ヲ要スル爲メ本月下旬ヨ
リ臨時縣會相開キ引續キ本年通常縣會開會ノ見込ニ候條本月十九日
廳下へ參着ノ上宿所附相添當廳エ届出候様縣會議員エ相達スヘシ此
段相達候事 (但病氣事故等ニテ參會能ハサルモノハ本文期日以前當
廳エ届出候様相達スヘシ且又旅費操替申出候向有之候ハ、明治十二
年本縣甲第七拾五號布達ニ據リ往路片道分操替相渡スヘシ)

○丙第五拾貳號 四月七日 各郡

十四年丙第六號達郡長委任條件へ一項追加 (原達訂正)

○丙第五十三號 四月十一日 各郡

十四年丙第六號達郡長委任條件第六條改正 (原達訂正)

○丙第五十四號 四月八日 三木山田、小豆、阿野鶴足、三野豐田、野間風早、各郡
下浮穴、東宇和、西宇和、南宇和郡ヲ除ク

米麥大豆及其他諸物品相場之儀從來香川郡高松市街外六箇所ニ於テ
取調來候處本年一月以降ハ從前貢納石代相場立有之箇所ニ限可取調
旨令般其筋ヨリ達ノ次第モ有之候ニ付別紙之通改正候條前月分每翌
月五日限リ取調可差出此段更ニ相達候事

讚岐國香川郡高松市街 全 國那珂郡丸龜市街

全 國寒川郡津田村

伊豫國宇摩郡川之江村 全 國新居郡西條町

全 國周布郡新屋敷村 全 國越智郡今治市街

全 國温泉郡松山市街 全 國上浮穴郡久万町村

全 國伊豫郡灘町 全 國喜多郡大洲市街

全 國北宇和郡宇和島市街

○丙第五拾五號 四月十五日 各郡

明治十二年乙第二百四拾一號達自今後ノ下へ(擊劍營業)ノ四字ヲ加
へ且左之但書追加候條此段相達候事

但金錢等ヲ不申受一時執行スルモノ、如キハ納稅ニ不及尤モ所轄
警察署へ届出サセ候儀ト可相心得

○丙第五拾六號 四月廿一日 各郡

十四年丙第六號達郡長委任條件第三拾八條へ増補（原達訂正）

○丙第五拾七號 四月廿五日 各郡

埼玉縣橡木縣郡長委任條件改正増補別紙之通ニ候條總テ明治十二年二月乙第五十五號達ノ通可相心得此段相達候事（別紙略之）

○丙第五十八號 四月廿三日 各郡

客年大藏省乙第四十號達齋翹營業稅取扱心得書第二款第十二項但書ノ義ハ十二月マテノ分ハ一月五日限差立爾後三ヶ月毎ニ取纏ノ製表可致答ニ候條此段相達候事

●丙第五十九號 四月廿五日 各郡

造酒見込届石高増減每次報告表及造酒検査濟石高每期報告表之儀ハ徵稅上百般ノ照查ニ供スル最モ緊要ノ品ニ付万一遲延候様ノ儀有之

候テハ右等ノ事務差支不勘義ニテ今般其筋ヨリ照會ノ趣モ有之候條差立方遲延致サ、ル様一層注意可致此段相達候事

丙第六十號 四月二十六日 各郡

明治十二年^七月乙第二百八號地券取扱順序中第廿五條第廿六條第卅一條左ノ通更正候條此段相達候事

第廿五條 死亡者失跡者ノ家督相續若クハ遺産相續及ヒ離縁戸主ノ家督相續ニ由テ地所讓受タルモノ其相續ノ日ヨリ六ヶ月以内地券名面書換願書ヲ戸長役場迄差出サ、ルハ事由詳細始末書差出サセ所轄警察署ニ告發シ追テ裁判所分濟第一條ノ手續ヲナスヘシ但本條期限内ニ地券名面書換願書ヲ差出ス能ハサルノ事由アリテ届出ル者ハ此限ニアラス

第廿六條 離縁者ノ跡家督相續ノ際最前離縁者ノ持込地ヲ雙方協議
ノ上讓受クルモノハ其家督財産ニ属セサルノ地所ナルカ故生存者
代換外ノ讓與ト全様可取扱答ニ付第五條ノ手續ヲ爲スニ及ハス
第卅一條 券狀ノ日附ハ郡役處ヘ書換願書進達ノ年月日ヲ記載スヘ
シ
但拂下下渡地等ノ如キ新ニ券狀下與スルモノハ現ニ其下付ノ日
ヲ記載スヘシ

○丙第六十一號 五月十四日 各郡

明治十三年丙第六十一號ヲ以地方稅收入豫算精算順序相達置候處十
三年度ヨリ別冊ノ通更定候條此段相達候事（但十三年度上半季精算
帳ノ儀ハ追テ何分相達候迄不及差出事（別冊畧之）

○丙第六拾貳號 五月四日 各郡

本年（二月）丙第六號達委任條件第六十八條中及全年（二月）丙第十九
號達中醫業種痘ノ四字删除候條此段相達候事

○丙第六拾三號 五月七日 各郡

十四年丙第六號達郡長委任條件へ二條增加（原達訂正）

○丙第六十四號 五月廿四日 各郡

京都府外二縣郡區長委任條件中別紙ノ通増加改正候旨通知有之候條

爲心得此段相達候事 (別紙畧之)

○丙第六十五號 五月廿三日 各郡

郡長委任條件左ノ一項追加候條此段相達候事

第七十七條 河川ノ大小石使用願ヲ聽許スル事

○丙第六十六號 六月 日各郡

明治十一年(十二月)乙第四百四十六號ヲ以相達候國稅地方稅收納順序
附錄諸帳簿離形中左之通改正増補別冊第二十三號乙號增加第二十四
號甲號更正候條國稅金受拂日計簿ハ本年七月ヨリ同受拂精算簿ハ十
四年度ヨリ右ニ照準可取扱此段相達候事

一在來離形第二十三號表紙號名ノ下へ(甲)ノ字ヲ加フ

一同上表紙簿名頭字(租)ヲ(國)ニ改ム

一同上表紙粹書(製スヘシ)ノ下エ (國稅ノ分ハ表紙端へ天號ト朱書
スルモノトス)ノ二十字ヲ加フ

一同上表紙裏面エ左ノ二項ヲ付記ス

國稅受拂日計簿ハ收稅委員領收証書更正ニ關セサル誤過納下戻

ノ分元拂ヲ記スルモノトス

離形元ノ部金筐入記帳番號割印ハ現金收入ノ分ニ用ヒ拂ノ部差
立目錄番號割印ハ國稅ヲ除クノ外ニ用ユルモノトス

第二十三號 乙

明治何年七月ヨリ
同 何年六月マテ

國 稅 金 受 拂 日 計 簿

朱書
地號

此帳簿ハ收稅委員領收証書金受拂ノ簿冊トシ天號帳簿拂ニ立タル
收稅委員送付ノ分領收証書到達ノ時々元ノ部エ登記シ一ヶ月分ヲ
取束テ同年度同稅目數廉アルハ之ヲ合算シ一廉ト爲シ拂ノ部ヘ記
載シ右一廉一通ノ上納証書ヲ製シ目錄ヲ添ヘ每翌月五日限リ縣廳
ヘ差立ルモノトス

但年度決算ノ際其他上納至急ヲ要シ臨時差立ルハ其時々拂ニ
立ルモノトス

此帳簿元ノ部ト天號帳簿拂ノ部收稅委員送付ノ分ト漸々算查照合
スルモノトス

年度及ヒ稅名等ノ誤納ニテ收稅委員領收証書更止ニ係ル分ハ此帳
簿ニ元拂ヲ立ルモノトス

此帳簿中郡長及主任書記檢印ハ天號帳簿ニ準ス

元之部

明治何年六月ヨリ

一金何程

收稅委員領收証越高

此譯

金何程

何年何月何日送付分

丙

何年分

金何程

何 稅

丙 金何程

何々(小科目)

丙 金何程

何々

金何程

何年分

何 稅

但何々(小科目)

(以下右ニ倣ヒ列記ス)

金何程

何年何月何日送付分

(内譯記載方前ニ同シ)

何年

七月何日

何年何月何日送付分

一金何程

收稅委員領收濟

行 差 額 簿

一

丙 號

〇三十二

(内譯記載方前ニ倣フ)

通計金何程

(兩度以上送付ノ分
領收証一時ニ到達
セシキハ前項越高
内譯記載方ニ倣フ)

拂之部

何年

七月何日

一金何程

縣廳上納

内

壹號 (差立目錄番號)

何年分

(金何程

廉限差立目錄
郡長割印

何 稅

内 金何程

何々

金何程

何々

貳號

何年分

金何程

何 稅

但何々

(以下右ニ倣ヒ列記ス)

何月何日

一金何程

縣廳上納

(内譯等前ニ同シ)

通計金何程

差引殘之部

何年

何月何日

一金何程

何月何日

一元拂差引殘高無之

〔領收証書悉皆差立
殘高ナキキノ書式〕

第二十四號 甲

明治何年分

國稅金受拂精算簿

此帳簿ハ雛形ニ倣ヒ墨書ノ如ク彫刻シ小科目稅額朱書ノ分墨書ニ
見出シテ付シ摘覽ニ便ニス

第一區ハ天號受拂日計簿元ノ部收入ノ日計ヲ登記ス

第二區ハ天號受拂日計簿拂ノ部收稅委員ヘ送付シタル日計ヲ登記
ス

第三區ハ地號受拂日計簿拂ノ部縣廳上納ノ分ヲ登記ス

第四區ハ收稅委員領收濟ノ内誤過納下戻及同員領收証書更正ノ爲
メ縣廳ヨリ下戻ノ分共登記ス

但夫々下戻ノ區分ハ金員上ヘ印ヲ付シ通計ニ内謬ヲ設ケ照查ノ
便ニ供スルハ適宜タルヘシ

第五區ハ稅額ヲ元ニ立上納下戻等差引全ク該日通計ヲ付
スル日縣廳未納

○丙第六十七號 六月二日 各郡

郡長委任條件第六十五條へ左ノ但書追加候條此段相達候事

第六十五條

但官國幣社祭禮ハ此限ニアラス

○丙第六十八號 六月二日 各郡

官林監守人職務上之義ニ付而ハ縣廳各課之備員全様可相心得此段相達候事

○丙第六十九號 六月七日 各郡

今般乙第七十九號ヲ以テ衛生事項通信手續相達候ニ付テハ撰舉方等左之通相心得來ル七月三十一日限當撰人名報告可致此段相達候事
一郡役所管内ノ面積人口ヲ斟酌シ三部乃至五部ニ別ツテ每部ニ一員

ヲ置クヘシ

一投票ハ郡役所ニ於テ之ヲ開緘シ多數ヲ以テ當撰人トシ同數ハ年長ヲ取ルヘシ

一當撰人定レハ左ノ離形ニ據リ當撰狀ヲ附與シ其住所人名受持町村名ヲ本廳及ヒ郡内ニ報告スヘシ

一任期ハ其受持部内町村ノ協議ニ任スト雖モ本務衛生委員ノ任期满ナタルキハ其本務ノ任期ト共ニ通信擔當者ノ任期モ終リタルモノトス

一通信擔當者ニ係ル諸費ハ其受持部内町村ノ協議費ヲ以之ヲ支辨ス

當撰狀書式

何那何町衛生委員

何 某

何那何町外何ヶ村衛生事項通信擔當者當撰候事

明治 年月日

何那役所印

○丙第七十號 六月七日 各郡

郡長委任條件左ノ通追加候條此段相達候事

第二十條 學校病院云々ノ上冒頭へ(中小)ノ二字ヲ追加ス

第七十八條 鑛山ヲ私ニ開鑿シ及ヒ試掘ノ鑛物販賣等取締ノ事

○丙第七十一號 六月八日 各郡

賣藥請賣鑑札製作費之儀ハ自今各郡廳費ヨリ支辨スヘシ此旨相達候事(但鑑札用紙ハ當廳ヨリ下渡候事

○丙第七十二號 六月八日 各郡

自家飲料ノ爲メ一ケ年壹石以下ノ酒類ヲ製造スルモノニテ垂歩合ノ多量ナルヨリ其製酒自然壹石以上ニ及ヒ更テ免許鑑札願出候モノハ免許期限ニ不拘其時々聽許不苦候得共壹石以上ニ及ヒタルヲ隱蔽シ検査員派出ノ際發覺シタルモノハ酒造稅則第四章第二十九條ニ據リ其筋ヘ告發可及答ニ有之候條爲念此段相達候事

但更テ免許シタル造石高ハ稅則取扱心得書第八號表増石ノ部分ヘ組入免許人名及ヒ鑑札番號等ハ其時々報告スヘシ

○丙第七拾三號 六月八日 各郡
燒酎蒸溜營業人共目下所有蒸溜器械取調ノ上左ノ書式ニ做ヒ臺帳ヲ製シ置爾後新調破解賣借等ノ節ハ其時々爲届出臺帳加除可致此段相達候事

書式

何郡何町何番地

一 蒸溜甕 一個

何 某

但 洞徑何尺何寸
豎 何尺何寸

一 兜釜 一個
但 口徑何尺何寸

○丙第七十四號 六月十一日 各郡
本年甲第三十號及第三十七號ヲ以テ各種營業及船車等稅金徵收方之儀ニ付及布達候處船畑航海中遠隔地方ニテ破解ニ及ヒ徵稅期月前届出間合無之者ニ限リ徵稅期月以後ニ及候共破解シタル地方浦役人ノ証書相添届出候ハ、當季稅金免除ノ上其顛末可届出此段相達候事
●丙第七十五號 六月十三日 各郡

本年(五月)第三十號ヲ以地券証印稱則改正ノ儀公布相成候ニ付テハ是迄舊稅則ニ依リ算出之上券狀送付ノ分ハ本月三十日迄ニ悉皆下渡シ証印稅徵收可致若シ事故アリ同日迄ニ渡方難相整七月一日以後ニ至リ下付スルキハ更ニ新稅則ニ依リ印稅仕組替ノ上下付方可取計此段相達候事(但本文印稅仕組替ノ分ハ其都度伊豫國ハ租稅課出張地券取扱所讚岐國ハ地租改正掛高松出張所へ詳細報道スヘシ)

○丙第七十六號 六月十四日 各郡

本年乙第七十九號ヲ以テ衛生事項通信手續相達候ニ就テハ各通信擔當者ニ於テ第四條ニ據リ報告書差出候ハ、郡役所ニ於テモ其可否得失及改良法等ノ意見ヲ附シ衛生課ニ送附スヘシ此段相達候事

●丙第七十七號 六月廿日 各郡

今般廳内各課ノ次へ地方費調查掛ヲ設置シ事務章程左ノ通相定候條此段爲心得相達候事

地方費調查掛

- 一 本掛ハ地方稅并備荒儲蓄金穀ノ收支方法ヲ調査シ及ヒ常置委員會ニ關スル事務等ヲ掌ル其節目左ノ如シ
- 一 地方稅徵収支出方法調査ノ事
- 一 地方稅豫算調査ノ事
- 一 地方稅豫決兩算報告調査ノ事
- 一 地方稅收支ニ關スル一切ノ廻議調査ノ事
- 一 備荒儲蓄金徵収支出方法調査ノ事
- 一 備荒儲蓄豫算調査ノ事

- 一 備荒儲蓄豫決兩算報告調査ノ事
- 一 備荒儲蓄金穀収支ニ關スル一切ノ廻議調査ノ事
- 一 常置委員會ニ關スル事務調査ノ事
- 一 農工商諮問會取調ノ事

●丙第七拾八號 六月廿一日 各郡

開拓使東京出張所各課相廢候ニ付北海道へ送籍移住者渡航願ノ義是迄東京同使出張所ニテ取扱候分ハ以來東京日本橋區箱崎町壹番地開拓使物産取扱所ニ於テ取扱候旨通知有之候條爲心得此段相達候事

○丙第七十九號 六月廿三日 各郡

和歌山縣於テ許可ヲ得タル賣藥營業者廢業又ハ禁止ノ節行商者ノ免許鑑札ハ其行商先ノ郡役所へ返納ノ筈ニ付取扱方之儀今般同縣ヨリ

依頼ノ趣モ有之候條右返納方申出候者有之ハ該鑑札受付行商者居住地ノ郡區役所へ速ニ送付可致此段相達候事

●丙第八十號 六月廿四日 各郡

山林保護ノ忽ニスヘカラサルハ歟々ヲ察サル儀ニテ屢及諭達置候次第モ有之處猶ホ今般農商務省甲第貳號山林共進會開設ノ儀達相成リ右ハ當時ノ篤志者ヲ褒賞スルモノナレニ其篤志者ヲ褒賞スルハ即チ將來ノ有志者ヲ獎勵スル所以ナリ有志者其獎勵ニ歎佩シ凋弊ノ衰林ヲ挽回シ漸次善美ノ良林ヲ養成セハ大ニ以テ全國ノ經濟ニ關シ小ハ以テ一家ノ需用ニ應シ目下輕忽ニ附スヘカラサル事業ニ有之候條右達ノ主意ヲ體シ詳密取調九月限爲差出候様可取計此段諭達候事

○丙第八十一號 六月廿七日 各郡

郡長委任條件第七拾七條左ノ通更正候條此段相達候事

一第七拾七條 海岸河川ノ大小石及ヒ土砂拂下願ヲ聽許スル事

但明治十年内務省甲第廿壹號布達ニ相當スル分ハ此限ニアラス

○丙第八拾貳號 六月三十日 各郡

明治十二年(一月)本縣乙第貳拾五號達郡役所事務取扱手續第五條第四項全第拾五條第四項左ノ通改正并第六項ノ次へ更ニ一項ヲ追加及附錄第五拾壹號全第五拾貳號書式別紙ノ通改正候條來ル七月一日以後右ニ照準可取扱此段相達候事

第五條第四項改正

一右公賣取計濟ノ分ハ其都度附錄第五拾壹號(甲乙)書式(官有物拂下仕譯書ハ甲號森林收入ニ屬スル仕譯書ハ乙號)ニ依リ縣廳へ届

出へシ

全第六項ノ次へ追加

一並木枯損木公賣取計濟ノ分取纏メ乙月十日迄ニ附錄第五拾壹號丙書式ニ依リ縣廳へ届出へシ

但並木ノ内櫨實拂下ノ分ハ本文ニ同シ尤仕譯書々式之義ハ官有副産物拂下仕譯書式(尤納種欄内ニハ並木櫨實云々ト其事由ヲ記載スヘシ)ニ準ヌ

第拾五條第四項改正

一右公賣取計濟ノ分ハ其都度附錄第五拾貳號書式ニ依リ縣廳へ届出へシ

(附錄第五拾一號ノ内)朱

官木郡限拂下仕譯書

甲第壹報		此號ハ一ヶ月中立ノ順次ニ依テ記入スルモノトス 朱					
月拂下	地名	地目	木種	木數	價額	拂受人	姓名
何月何日	何何何何何何 字何々村郡	官有 或ハ堤塘	樹名 或ハ木障 相木或ハ障害木	何何何何何何 寸尺廻	金何何何何何 拂官有物代	何何何何何何 何何何何何何	何何何何何何 何何何何何何

右之通有之候也

年號月日

何郡長姓名

縣令宛

(附錄第五十一號) 朱
官木郡限拂下仕譯書

乙第壹報		此號ハ一ヶ月中立ノ順次ニ依テ記入スルモノトス 朱					
月拂下	地名	地目	木種	木數	價額	拂受人	姓名
何月何日	何何何何何何 字何々村郡	何等或ハ 員外官林 禁伐林	樹名損木 或ハ障害 木共事由	何何何何何何 尺未滿何何何何 廻以上何何何何 尺廻以上何何何何 六尺廻以上何何何何	金何何何何何 森林収入	何何何何何何 何何何何何何	何何何何何何 何何何何何何

右之通有之候也

年號月日

何郡長姓名

縣令宛

(附錄第五十一號ノ内)朱

明治何年
何月中 並木郡限拂下仕謄書

丙號	拂下 月日	地名	地目	木種 事由	木數 目通	價額	拂受人 在籍	姓名
	何月何日	何何 字何何村郡	道路	樹名 損木或ハ 障害又ハ	何何何 何寸尺本	金何程	何何 何村郡	何ノ誰

右之通有之候也

年號月日

縣令宛

何郡長姓名

(附錄第五十二號)朱

官有副産物拂下仕謄書

第一號	拂下 月日	地名	地目	物名	量目	價額 納種	願人 在籍	姓名
	何月何日	何何 字何何村郡	官林 或ハ官 有地	松茸或 ハ枳實	何何 何貫斤	金何程 森林収 入官有 物拂代	何何 何村郡	何ノ誰

〔此號ハ一ヶ月申差立ノ順次〕
〔依テ記入スルモノトス〕
〔森林収入ト通常官有物拂下〕
〔トハ各別表ニ認ムヘシ〕
朱

右之通有之候也

年號月日

縣令宛

何郡長姓名印

○丙第八十三號 七月一日各郡

明治十二年(六月)乙第百七拾九號達左ノ通改正候條此段相達候事

一國税金ノ内事故有之未納ニテ該年皆濟帳一旦勘定拂ニ相立タル分
其他總テ追徴ヲ要スル分(身代限或ハ公賣處分徴収不足他郡區ヨ
リ引繼ヲ受タル分等)ハ年度税目金員人名事由詳記シ元帳ヲ製シ
置後年徴収ノ節ハ年度後追納ノ名義ヲ以別紙甲號書式ニ倣ヒ証書
ヲ製シ上納スヘシ

一前條追納金一周年(會計年度)分取纏メ乙號書式ニ倣ヒ税目限リ仕
譯書各冊ニ取調七月三十一日限可差出決算仕上方ハ其年度ノ本税
皆濟帳金額エ合算スヘシ

甲號(用紙美濃桁梓罫紙税目限各通タルヘシ)

證

一金何程 第何號(仕上年度ノ順番號)

(小科目記載方ハ通常上納證書書式ニ據ル)

明治何年分(徴収スヘキ) 何税年度後追納同何年度(徴収セシ年度
相當ノ年度) 月ヨリ十四年六月マテ郡役所エ徴収(即チ十三年七
セシ分ヲ十三年度仕上トスルノ類) 仕上可相成分同何年何月中収
税委員領收濟之分

右上納候也

年號月日

郡長姓名印

縣令宛

差立目錄ハ左ノ書式ニ倣ヒ通常目錄中エ列記スヘシ

何號

何年分年度后追納何年度仕上

一金何程

何稅

乙號 (兩表紙美濃紙袋綴仕立)

明治何年 {徵收セシ} 年度

何稅年度後追納仕譯書

何郡

用紙常用野紙

明治何年分 {徵收スヘキ相} 當ノ年度

未納高金何程 {該年皆濟帳外書勘定除} ノ總金高ヲ掲ク

內金何程 何年度仕上濟 前年度ニ追納仕上濟アル分ノ書式

一金何程 (一周年連々上納セシ分ヲ合算ス)

內

何郡何町

金何程

何某 {地稅ハ町村名ヲ記スヘシ}

但何々(小科目記載尤ニ科目以上ハ内書ノコ)

是ハ何々 {未納ノ事故即チ該年勘定除ノ事由ヲ記載ス} 二付未納之處上納候分

金何程

但何々(前ニ同シ)

是ハ、、、、、、

外金何程

內

金何程 (該年度中所分濟官損ニ歸シタル分記載方)

是ハ何々 {該年勘定除ノ事由記載} 二付御損失分

金何程 該年度中處分未濟ニテ此年度中所分濟ノ分記載方

是ハ何々(前ニ同シ)ニ付未納之處々分濟御損失何年何月何日
付上申之分

金何程 {該年度中處分未濟ノ分尙此年度中モ
完了セサルモノアル中ノ記載方

是ハ何々(前ニ同シ)ニ付未納之分

明治何年分

{前ニ
全シ}

一金何程

{該年勘定除未納事故一筆ニテ處分濟追納ノ書式トス尤
他郡區ヨリ引受タル分ニテ徵收ノモノモ此書式ニ倣フ}

但何々(小科目記載方前ニ全シ)

是ハ何々

{事故詳細
記載}

ニ付未納ノ處上納候分

(徵收スヘキ相當年度連々アルキハ右ニ倣ヒ列記スヘシ)

合金何程

右者何郡明治何年

{徵收セ
シ年度}

何稅年度後追納書面ノ通候也

年月日

郡長姓名印

縣令宛

●丙第八十四號 六月廿八日 各郡

本年丙第七十五號ヲ以地券証印稅徵收方之儀ニ付相違置候處賣買讓
與ノ分ニ限リ本月三十日以前出願ノ向ハ七月一日以後ニ至リ下附ス
ルモ舊稅則ニ依リ徵收可致此段相違候事

但是迄本文ニ抵觸ノ指令ハ渾テ取消ノ義ト可相心得且新規ノ分ニ
シテ七月一日以後ニ至リ下付スル分ハ券面日附モ實際授與ノ日ニ
更正スヘシ